

平成29年度

第五次青梅市生涯学習推進計画

進捗状況報告書

(平成28年度分事業)

青梅市生涯学習推進本部

はじめに

青梅市では、生涯学習施策を計画的に推進するため、平成26年度を初年度とする「第五次青梅市生涯学習推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいます。

この報告書は、「第五次青梅市生涯学習推進計画」の進捗状況について年次報告として作成したものです。

生涯学習の理念である、市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向けて、計画の総合的かつ横断的な推進を図ります。

平成29年10月

目 次

第 1 章

I 計画の概要	7
II 施策の展開	10
III 青梅市事業計画一覧	15

第 2 章

計画の進捗状況調査報告書	21
1 生涯学習の基礎づくり	23
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	23
(2) 小・中学校教育の充実	24
(3) 家庭・学校・地域の連携	26
2 生涯学習の場と機会の拡充	29
(1) 施設の整備と有効活用	29
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	29
(3) 共に生きるための学習機会の充実	34
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	36
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	39
3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から	42
(1) 地域コミュニティ活動の支援	42
(2) 地域人材の育成と活用	43
4 学習情報提供と学習相談の充実	46
(1) 学習情報提供の充実	46
(2) 学習相談の充実	47
5 生涯学習推進体制の確立	48

第 1 章

I 計画の概要

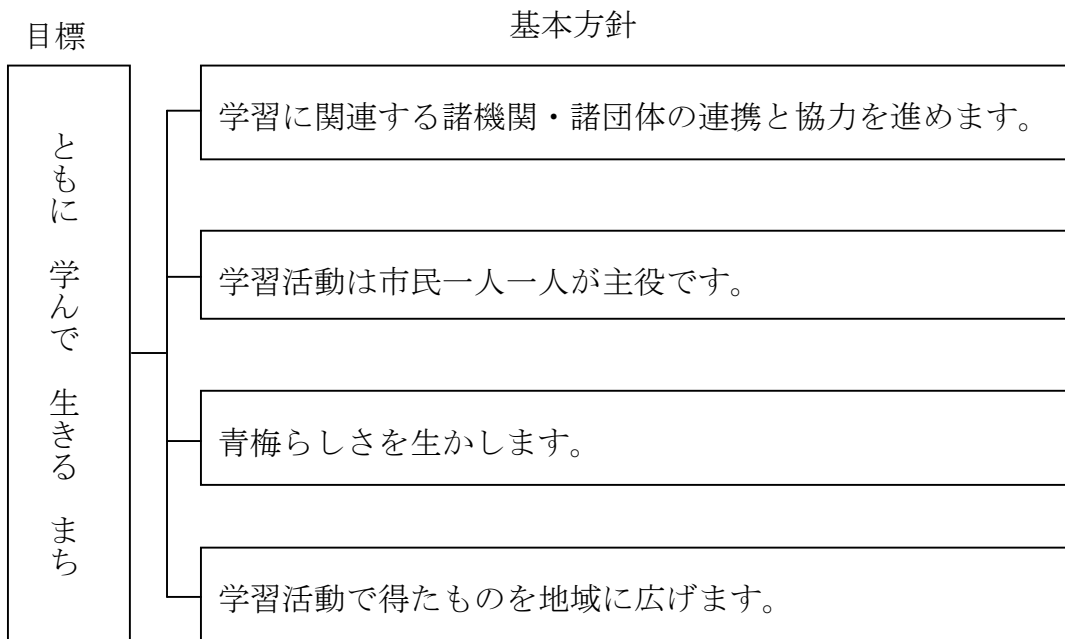
II 施策の展開

III 青梅市事業計画一覧

I 計画の概要

第五次青梅市生涯学習推進計画

1 生涯学習推進の目標と基本方針



市民が生涯を通じ、学習の機会を選択して、様々な知識や技術が習得し、人格を磨き、「ともに学んで生きるまち」を実現できるように生涯学習の推進を図ります。

2 計画策定の趣旨

青梅市では、市民一人一人が生涯を通じて地域社会の中でともに学び・ともに教え合いながら、生きがいのある充実した生活を送ることができるような「生涯学習社会」を築くために、生涯学習推進計画を策定します。「ともに学んで生きるまち」を目指して、市民と行政のパートナーシップをもとにした生涯学習のまちをつくるために、市が実施している生涯学習関連の諸事業を体系化するとともに、市内生涯学習関係機関団体との協働により、諸施策の効果的な展開を図っていきます。

3 計画の期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

この推進計画は青梅市総合長期計画を上位計画（平成25年度から平成

34年度)とし、他の部門別計画とも整合性を図っていきます。

4 計画の指針

青梅市における生涯学習に関する施策の総合的・効果的な推進を図り、生涯学習に関する既存施策を総合的な観点から体系化するとともに、将来において展開する必要がある施策の考え方を示します。

5 計画の範囲

- (1) 生涯学習社会の形成に向けての市の役割を明記するものですが、計画の推進にあたっては、生涯学習に関連する各種団体・機関等の協力を得て推進します。
- (2) 対象となるのは、教育、文化、スポーツのほか、趣味やレクリエーション、福祉、保健衛生、防災、まちづくり等、市や各種団体・機関等で行う幅広い分野の学習事業とします。

6 生涯学習の背景

- (1) 知識学習としての生涯学習
社会の変化は次々と新しい知識や技術を出現させ、それぞれのライフスタイルやビジネスを充実させるために、それらの学習が必要とされています。学校の学習だけでなく社会人になってからも、学習し続ける必要があります。
- (2) 職業教育としての生涯学習
市場の国際化に伴い、技術革新や労働の質の向上のため、職業技能や能力開発に関する研修や訓練が重視されてきました。(企業内研修からリフレッシュ教育、リカレント教育への取組へ。大学等高等教育機関に対して学習機会提供の期待が高まっています。)
- (3) 生きがい追求としての生涯学習
時間的・経済的余裕が仕事以外で自己実現を可能としました。仕事を離れた高齢者や子育てを終えた女性が趣味・教養等の「自分探しの学習活動」を通じて、生きがい・充実感を追求する気運が高まっています。
- (4) 心のうるおいとしての生涯学習
急激な社会変化がもたらす人間疎外や人間性の喪失に対処するため、心のうるおい・人との交流・ふれあいを求めて、仲間探しの学習活動が増えています。
- (5) まちづくり（地域形成）としての生涯学習
学習する向上心が地域の活性化をもたらし、学習活動を通してこそよい

人間関係が生まれ、豊かで住みよい地域が実現されます。学習した人々が地域の担い手として地域づくりに参加し、学習の成果をまちづくりに生かしていくことが期待されています。

— スローガン —

「ともに学んでいきるまち」をめざして

O 応援します お互いに

M 学んで 教えて

E エンjoyします

みんなで 楽しむ 生涯学習

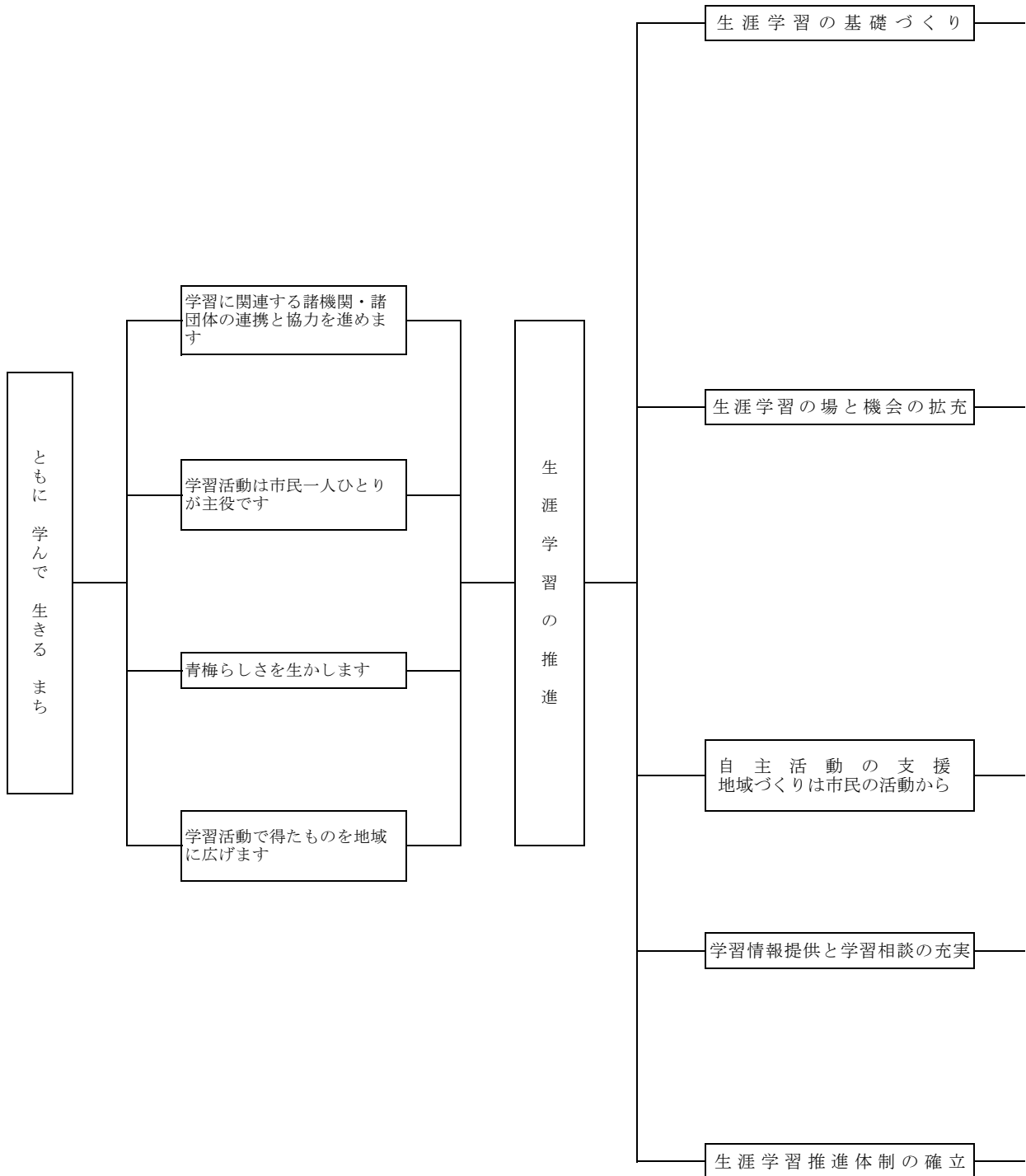
II 施策の展開

1 計画の体系

(目標)

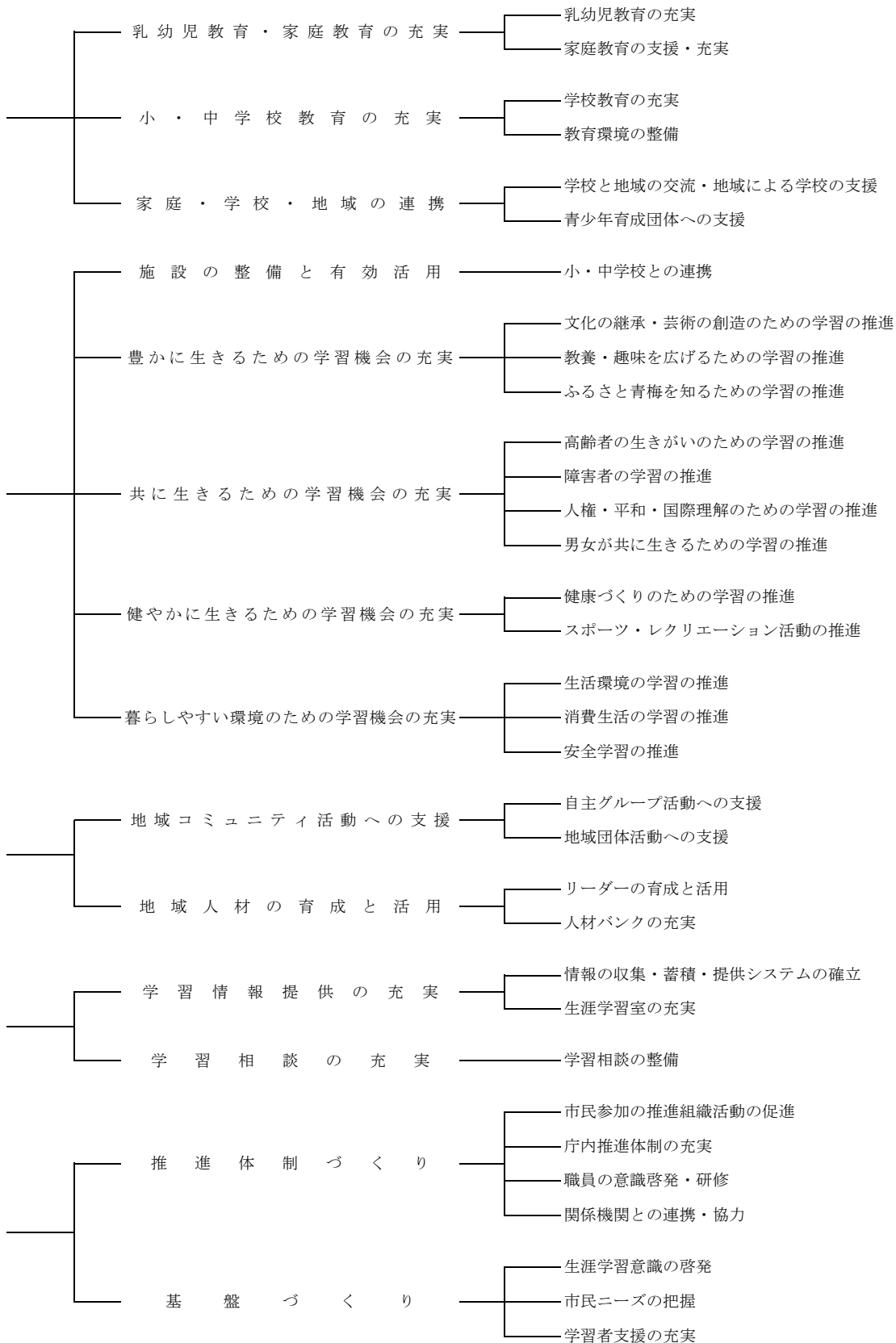
(基本方針)

(基本的施策)



(主な施策の方向)

(具体化の方策)



2 基本的施策

5つの基本的施策を設定し、総合的に施策を推進します。

- 1 生涯学習の基礎づくり
- 2 生涯学習の場と機会の拡充
- 3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から
- 4 学習情報提供と学習相談の充実
- 5 生涯学習推進体制の確立

1 生涯学習の基礎づくり

基本的な考え方

生涯にわたり自らが考え、創造性豊かな充実した人生を送るためには、人間形成の基礎をつくる子どもの時期に基本的な学力や自らを成長させようという意欲、生きる力などを身につけることが大事です。

個性豊かな子どもの健全な成長を願い、子どもを取り巻く家庭・学校・地域が連携して子育て・教育の充実を図り、地域社会全体で行われるような環境を目指します。

子どもを取り巻く学習環境を見ると、少子化・核家族化の進展と同時に、家庭教育力・地域教育力の低下や親の意識改革が叫ばれています。また、いじめ、登校拒否等、様々な問題が子どもたちに重圧をかけてきています。このようなことから、各保育園で行っている子育て支援事業との連携や、小・中学校との連携を含め子育て相談、家庭教育の機会の提供など、家庭教育への支援や地域での青少年関係団体活動への支援などを通して「生涯学習の基礎づくり」に努めます。

主な施策の方向

- (1) 乳幼児教育・家庭教育の充実
- (2) 小・中学校教育の充実
- (3) 家庭・学校・地域の連携

2 生涯学習の場と機会の拡充

基本的な考え方

市民が自主的に生涯にわたって学習し、健康で豊かな生活を送ることができるよう、市民一人一人がその能力や個性を伸ばし、自分の求めるものを自分に合った方法で「いつでも・どこでも・だれでも」が学べるよう、学習の場と機会の拡充に努めます。

また、あらゆる市民が身近な施設で活動できるよう、利用しやすさやバリアフリーの視点等から市民センター等の改修整備に努めます。また、インターネット等の活用による各種イベント情報の提供など、市民の利便性の向上を図ります。

主な施策の方向

- (1) 施設の整備と有効活用
- (2) 豊かに生きるための学習機会の充実
- (3) 共に生きるための学習機会の充実
- (4) 健やかに生きるための学習機会の充実
- (5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実

3 自主活動の支援

基本的な考え方

地域づくり・まちづくりは市民の着実な活動から始まります。団体・サークル等の自主活動を通じて、仲間とのふれあいが生まれ、人と人との関係が豊かになってきます。このような自主活動の中で、お互いに学び合い、教え合うような人間関係が形成されます。こうした自主的な地域団体・自主グループの活動が活発になるよう応援するため、その自主性を基本として、活動の場の提供や講師・指導者の紹介などを支援していきます。

市民同士が教え合い、学び合う環境を整備し、生涯学習を地域から市民の手で推進していくような方策について検討していきます。

主な施策の方向

- (1) 地域コミュニティ活動への支援
- (2) 地域人材の育成と活用

4 学習情報提供と学習相談の充実

基本的な考え方

市民一人ひとりの学びの意思・意欲を大切にするとともに、学習活動が活発になるためには、生涯学習情報が「いつでも・どこでも・だれでも」が入手できることが求められています。

このことから、広報等の印刷物による学習や機会の場・方法などに関する情報をはじめ、インターネットによる情報提供を実施し、市の生涯学習事業に関する情報を発信することで、市民の生涯学習を支援します。

主な施策の方向

- (1) 学習情報提供の充実
- (2) 学習相談の充実

5 生涯学習推進体制の確立

基本的な考え方

生涯学習関連事業は、教育委員会部門だけでなく、行政部門でも各課で様々な事業が活発に行われるようになってきています。市民の自主的な学習活動を効果的に支援していくために、現在各課で個々に企画実施されている生涯学習事業を、それぞれの事業の目的を大切にしながらも、市民の生涯学習の推進という視点からとらえなおして、関係部課の横の連携協力関係を築いていくことが大切です。

各課の横の連携、情報交換を図ることで、同様の事業が他の部課と重複して実施されることを避け、バランスよく効率的に事業を実施していくことが必要です。そのために、市民の生涯学習を支援するという観点からの各課の事業担当職員の共通理解が必要です。

また、学習の主体である市民の意見を推進施策に反映させていくことが大切であり、市と市民が協力しながら推進施策を進めていくため、市と市民の情報交換や意見交換の場が必要です。そうした場を、協議機関・連携協力機関として生涯学習推進体制の中に充実させていきます。

主な施策の方向

- (1) 推進体制の充実
- (2) 基盤づくり

Ⅲ 青梅市事業計画一覧

No.	事業名	所管課等	頁
1 生涯学習の基礎づくり			23
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実			
1	母親（両親）学級	健康課	24
2	乳幼児健康相談	健康課	
3	両親学級	健康課	
4	子育てひろば事業	子ども家庭支援課	
5	子育て支援事業	子ども家庭支援課	
6	親子のスキンシップを図る教室	社会教育課	
7	家庭教育学級	社会教育課	
8	おはなし会	中央図書館	
9	子ども読書活動推進事業講演会	中央図書館	
10	ブックスタート事業	中央図書館	
11	【新規事業】協働木育講座「はじめてのおもちゃづくり」	農林課	
(2) 小・中学校教育の充実			
12	教員研修	指導室	24
13	教育研究支援	指導室	
14	教科指導等の充実	指導室	25
15	進路指導の充実	指導室	
16	生徒指導の充実	指導室	
17	相談機関の充実	指導室	
18	適応教室の充実	指導室	
19	情報教育の推進	指導室	
20	芸術・技術教育の支援	指導室	
21	スポーツ教育の振興	指導室	
22	特別支援学級の運営	教育指導担当	
26			
(3) 家庭・学校・地域の連携			
23・24	P T Aの活動への支援	市民センター・社会教育課	26
25	協働事業の支援	市民活動推進課	
26・27	青少年対策地区委員会事業への支援	市民センター・子ども家庭支援課	27
28・29	青少年委員活動	市民センター・社会教育課	
30	青少年問題協議会	子ども家庭支援課	
31	子ども会・保護者会等の学習活動への支援	社会教育課	
32	放課後子ども教室	社会教育課	
33	職場体験事業	中央図書館	28
34・35	地域人材の活用	指導室・社会教育課	
2 生涯学習の場と機会の拡充			29
(1) 施設の整備と有効活用			
36	学校体育施設開放	スポーツ推進課	29
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実			
37	公共施設見学会	秘書広報課	29
38	福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢介護課	
39	地域保健福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢介護課	
40	敬老会	高齢介護課	
41	観梅市民まつり	商工観光課	
42	後援等協力事業	商工観光課	
43	昭和レトロ商品博物館	商工観光課	
44	青梅赤塚不二夫会館	商工観光課	
45	シイタケ栽培講習会	農林課	
46	青梅市農業祭	農林課	
30			

No.	事業名	所管課等	頁
47	16ミリ発声映写機・ビデオプロジェクター操作講習会	社会教育課	30
48	成人式	社会教育課	
49	掌理団体定期演奏会等	社会教育課	31
50	市民大学	社会教育課	
51	農業食育体験教室・ふれあいまつり販売体験	社会教育課	
52	豊かに生きるための教室・講座等の実施	社会教育課	
53・54	生涯学習フェスティバル（釜の淵新緑祭）	社会教育課・文化課	
55	展示（郷土博物館）	文化課	
56	郷土博物館講座	文化課	
57	文化財の調査保護	文化課	32
58	文化財の紹介・普及	文化課	
59	実技講座（美術館）	文化課	
60	常設展（美術館）	文化課	
61	特別展・企画展（美術館）	文化課	
62	ビエンナーレOME	文化課	
63	美術講演会	文化課	
64	市民映画会	文化課	33
65	市民劇場	文化課	
66	中央図書館講座等	中央図書館	
67	工作及び手芸教室	中央図書館	
68	上映会	中央図書館	
69	明るい選挙推進講演会	選挙管理委員会	
70	親子農業体験会	農林課	
71	本物にふれる会	吹上中学校	
72	ますつりにチャレンジ	青梅市青少年委員協議会	
73	集まれおうめっ子	青梅市青少年委員協議会	
(3) 共に生きるための学習機会の充実			
74	平和の写真展の開催	秘書広報課	34
75	国際交流活動支援	秘書広報課	
76	通訳ボランティア	秘書広報課	
77	男女平等講座の開催	企画政策課	
78	女性の就業支援	企画政策課	35
79	老壮大学	市民センター	
80	社会を明るくする運動	福祉総務課	
81	家庭介護DVDの貸出し	高齢介護課	
82	認知症サポーター養成講座	高齢介護課	
83	高齢者クラブ健康づくりモデル事業	高齢介護課	
84	家族介護教室	高齢介護課	
85	手話講習会事業	障がい者福祉課	
86	点字図書給付事業	障がい者福祉課	
87	身体障がい者自動車運転教習事業	障がい者福祉課	
88	相談支援事業	障がい者福祉課	36
89	意思疎通支援事業	障がい者福祉課	
90	青梅市障がい者サポートセンター事業	障がい者福祉課	
91	中等度難聴児発達支援事業	障がい者福祉課	
92	国際理解講座	社会教育課	
93	ともに生きるための教室・講座の企画運営	社会教育課	
94	生涯学習まちづくり出前講座	社会教育課	

No.	事業名	所管課等	頁	
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実				
95	各種体操教室	スポーツ推進課	36	
96	青梅マラソン大会	スポーツ推進課		
97	有酸素運動普及事業	スポーツ推進課	37	
98	スポーツ・レクリエーションフェスティバル	スポーツ推進課		
99	市民体育大会	スポーツ推進課		
100	奥多摩溪谷駅伝競走大会	スポーツ推進課		
101	屋内温水プール開放事業	スポーツ推進課		
102	介護予防講演会	高齢介護課		
103	自主グループ育成支援	高齢介護課		
104・105	機能訓練	高齢介護課・健康課		
106	おうめ健康まつり	健康課		
107	健康教育	健康課		38
108	健康相談	健康課		
109	おうめ健康塾	総合病院管理課		
110・111 112・113	健やかに生きるための教室・講座の企画運営	スポーツ推進課・高齢介護課 健康課・社会教育課		
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実				
114	広聴活動	秘書広報課	39	
115	交通公園日曜映画教室	市民安全課		
116	交通公園交通安全教室	市民安全課		
117	交通安全講習会	市民安全課		
118	セーフティ教室（交通事故再現方式）	市民安全課		
119	専門相談事業	市民安全課		
120	パネル展等	市民安全課		
121	消費者相談	市民安全課		40
122	消費者研修会・セミナー	市民安全課		
123	市民のくらし展	市民安全課		
124	親水事業の拡充	環境政策課		
125	市民環境講座	公園緑地課		
126	環境月間	環境政策課		
127	ごみ処理施設見学会	清掃リサイクル課		
128	市内一斉美化デー	清掃リサイクル課		
129	小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進ポスターコンクール	清掃リサイクル課		
130	ごみ減量講座	清掃リサイクル課	41	
131	野鳥講座	農林課		
132	【新規事業】協働木育講座「林業化仕事見学ツアー」	農林課		
133	暮らしやすい環境のための教室・講座の企画	社会教育課		
3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から			42	
(1) 地域コミュニティ活動への支援				
134	総合防災訓練	防災課	42	
135	防災ハンドブックの作成・配布	防災課		
136	市民活動災害補償制度	市民活動推進課		
137	自主学习グループ支援	市民センター		
138	支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等各地域団体の支援	市民センター	43	
139	青梅型地域スポーツクラブ	スポーツ推進課		
140	地区市民運動会等支援	スポーツ推進課		
141	環境美化大会	清掃リサイクル課		
142	資源回収の奨励	清掃リサイクル課		
143	社会教育関係団体補助	社会教育課		
144	総合文化祭	文化課		
145	落ち葉掃き等ふれあい活動	吹上中学校		

No.	事業名	所管課等	頁
(2) 地域人材の育成と活用			
146	合同企業説明会in青梅	商工観光課	43
147	防災リーダーの育成	防災課	
148	子ども会ジュニアリーダー講習会	市民センター	44
149	子ども会育成指導者講習会	市民センター	
150	地域の特性を生かした事業	市民センター	
151	スポーツ推進委員研修	スポーツ推進課	
152	シルバーマイスター制度	高齢介護課	
153	吹上しょうぶ公園・梅の公園ボランティアガイド	商工観光課	
154	青梅市森林ボランティア育成講座	農林課	45
155	緑地管理ボランティア	公園緑地課	
156	青少年リーダー育成研修会事業	社会教育課	
157	講師・指導者およびボランティア協力者・協力団体人材登録制度	社会教育課	
158	芸術文化奨励賞	文化課	
159	おはなし学習会	中央図書館	
160	絵本のべんきょう会	中央図書館	
4 学習情報提供と学習相談の充実			46
(1) 学習情報提供の充実			
161	広報おうめの発行	秘書広報課	46
162	男女平等情報紙	企画政策課	
163	インターネットホームページの充実	情報システム課	
164	青梅税務署管内小学生による『税を考える週間』書道展	市民税課	
165	土砂災害対策の充実	防災課	
166	市民センターだよりの発行	市民センター	
167	観光CD-R等の貸出し、観光テレフォンサービス	商工観光課	
168	生涯学習だよりの発行	社会教育課	
169	市民企画講座の募集	社会教育課	
170	社会教育事業の学校への周知	社会教育課	
171	図書館報の発行	中央図書館	
172	ブックリストの配布	中央図書館	
173	分館図書館だよりの発行	中央図書館	
(2) 学習相談の充実			
174	学習相談	社会教育課	47
5 生涯学習推進体制の確立			48
推進体制づくり			
175	職員対象啓発事業	職員課	48
176	生涯学習推進本部	社会教育課	
177	生涯学習推進市民会議	社会教育課	

第2章

計画の進捗状況調査報告書

計画の進捗状況調査報告書

調査内容 事業内容と進捗状況

1 平成28年度取組状況

2 担当課評価

評価記号	評 価	評 価 基 準
◎	順調である	<ul style="list-style-type: none">・ 効果的で優れた取組を行った・ 大きな成果を上げた・ 課題や問題点は一つもない
○	おおむね順調である	<ul style="list-style-type: none">・ 効果的な取組を行った・ 一定の成果を上げた・ 大きな課題や問題点はない
△	一部困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none">・ 取組を行った・ 多少の成果を上げた・ 課題や問題点がある
×	困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none">・ 取組を行わなかった・ 取組を行ったが成果は上がらなかった・ 大きな課題が残った
—	事業終了 隔年実施	

事業計画	事業数	◎	○	△	×	－
1 生涯学習の基礎づくり	35	2	32	0	0	1
(1)乳幼児教育・家庭教育の充実	11	1	9	0	0	1
(2)小・中学校教育の充実	11	0	11	0	0	0
(3)家庭・学校・地域の連携	13	1	12	0	0	0
2 生涯学習の場と機会の拡充	98	2	90	3	1	2
(1)施設の整備と有効活用	1	0	1	0	0	0
(2)豊かに生きるための学習機 会の充実	37	2	34	0	1	0
(3)共に生きるための学習機 会の充実	21	0	19	2	0	0
(4)健やかに生きるための学習 機会の充実	19	0	18	1	0	0
(5)暮らしやすい環境のための 学習機会の充実	20	0	18	0	0	2
3 自主活動の支援	27	1	23	1	1	1
(1)地域コミュニティ活動への 支援	12	0	10	1	0	1
(2)地域人材の育成と活用	15	1	13	0	1	0
4 学習情報提供と学習相談の充実	14	0	13	1	0	0
(1)学習情報提供の充実	13	0	12	1	0	0
(2)学習相談の整備	1	0	1	0	0	0
5 生涯学習推進体制の確立	3	0	3	0	0	0
(1)推進体制づくり	3	0	3	0	0	0
合 計	177	5	161	5	2	4
割 合 (%)	100	2.8	91.0	2.8	1.1	2.3

基本的施策

1生涯学習の基礎づくり

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	健康課	1 母親(両親)学級	初産の妊婦を対象に安心して出産ができるよう親となる心構えを伝え、妊娠中の不安を解消します。	健康センターにおいて、母親(両親)学級を実施した。 ・4日間コース 年2回実施 延べ参加人数 85人 ・5日間コース 年6回実施 延べ参加人数 323人	○	受講者の都合に合わせて4日間と5日間コースの教室が選択出来るようにした。また、両コースの最終日は、夫婦で参加しやすいように土曜日に実施している。
	健康課	2 乳幼児健康相談	健康・栄養・歯科および育児に不安がある乳幼児に対し、小児科医師等が専門的な立場から適切な指導助言を行い、保護者の育児を支援します。	健康センターにおいて、以下の相談事業を実施したほか、電話での各種相談にも対応した。 ・医師による乳幼児健康相談 年24回実施 延べ件数400件 ・健康センター専門職による乳幼児健康相談 年12回実施 延べ件数235件 ・心理相談員による子ども発達相談 年60回実施 延べ件数338件	○	気軽に相談が出来る場として、健診や新生児訪問時に御案内している。相談内容は、計測のみの利用から、育児・栄養・歯科に関する相談を行うことにより育児における不安解消の一助になっている。 また、心理相談員が1歳6か月児健診等の健診結果や言葉の遅れや行動等に関する相談にのることで、保護者の不安解消の一助になり、今後のサポートにつなげることが出来た。
	健康課	3 両親学級	妊娠16週から27週までの妊婦と夫を対象に、赤ちゃんの育て方、あやし方、お風呂の入れ方等について指導し、父親の子育て参加を促します。	平成27年度より、母親学級と事業統合した。	-	
	子ども家庭支援課	4 子育てひろば事業	保育所の機能・スペースを活用して、ふれあいの場を提供し、日常的で身近な問題について、保護者・子どもから相談を受け、話し相手になります。また、啓発事業を実施します。	・子育て支援センター、永山ふれあいセンターの「キッズパーク」、青梅子ども未来館内の「ここに広場」、8月1日から新たに東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」開設したほか、15保育所で実施した。 ・地域に身近な保育園を開放し、誰でも参加できるふれあいの場を提供した。 ・育児講座を開催。 ・親子参加行事を開催。 ・相談業務を行った。	◎	育児講座などを行い子育て中の保護者へ積極的に情報を提供することができたため。また、相談業務で子育ての悩み等の相談を受け、子育て中の悩みの解決に向け一定の効果が上がることができた。また、8月1日から新たに東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」の2か所を新規開設し充実を図ったことから大きな成果を上げた」と評価したため。
	子ども家庭支援課	5 子育て支援事業	青梅市子育て支援センターなど、子育てと子どもの健やかな成長を支援する場を提供するとともに、講座等を行います。	・市内の各市民センター、子育て支援センターおよび下長淵自治会館で事業を実施した。 ・手遊び型の事業では和室や会議室などで、絵本や積み木などを使った遊びを行った。 ・体育型では体育館でボールや縄跳びなどを使った遊びを行った。 実施回数 595回 延べ参加人数 11,414人	○	市民センターで行うことにより、市民が気軽に利用できる子育ての場を提供することができたため。また、講師が広場にいることにより、はじめての利用者にも利用しやすい雰囲気を作ることができたため。 なお、実施回数および延べ参加人数は減少の要因は、8月1日から新たに東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」開設したため、より充実した事業展開を行っている、子育てひろばに参加者が移行したことによる。
	社会教育課	6 親子のスキンシップを図る教室	「親子スキンシップ教室」、「ちびっこひろば」等、親と子のスキンシップを図る教室を開催します。	全8回の教室を10教室、全12回の教室を1教室、体験型イベントを1回実施した。 ・親子ふれあいスクール 全8回(河辺市民センター・336人) ・ちびっこひろば 全12回(長淵市民センター・540人) ・親子スキンシップ教室 全8回 青梅メロン(天ヶ瀬体育館・釜の淵市民館・200人) 成木たんぽぽ(成木市民センター・182人) 新町うさぎ(新町市民センター・254人) 今井いちご(今井市民センター・187人) 新町もも(新町市民センター・284人) 青梅りんご(釜の淵市民館・256人) 梅郷ごぐま(梅郷市民センター・246人) 大門バンダ(大門市民センター・256人) 東青梅すみれ(東青梅市民センター・286人) ・ちびっこランド(釜の淵市民館・77人) ※括弧内の人数は教室の延べ参加人数 合計 3,104人	○	市民のニーズにあった教室を実施することができた。今後も適宜、教室の開催場所や対象年齢等の見直しを行っていく。
	社会教育課	7 家庭教育学級	主に乳幼児から中学生を持つ親を対象に、家庭教育に関する様々なテーマで開催します。	家庭教育講演会 ・第1回 遊びで育む子どもの思考力&コミュニケーション力 実施日 9月25日 参加人数 22人 ・第2回 食べて育む～子どものこころと食事の意外な関係性～ 実施日 1月28日 参加人数 35人 ・第3回 こころのSOSサインをキャッチ！～子どものこころを健康に保つヒントを学ぼう～ 実施日 3月5日 参加人数 41人	○	毎回テーマを変えて3回の講演会を行った。また、乳幼児の保護者も参加しやすいよう第二回、第三回では託児保育を実施した。なお、第一回は子どもと一緒に参加が可能な内容だったため、託児は実施しなかった。
	中央図書館管理課	8 おはなし会	絵本の読み聞かせやおはなしの語りなどを行います。	・4月1日から3月25日まで延べ64回、中央図書館・市民センター・小学校でおはなし会を実施した。延べ参加人数 1,764人 ・平成28年度においても、紙芝居のおはなし会を実施した。7月31日・1月7日の延べ6回 延べ参加人数 211人	○	1年を通じて事業を実施し、多くの参加者を得ることができた。今後も各事業の開催回数や内容の充実を図ることが課題である。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 乳幼児教育の充実	中央図書館管理課	9 子ども読書活動推進事業講演会	子どもの読書活動を推進するための講演会などを実施します。	12月1日に、三井はるみ氏による講演会「学んでみよう！多摩のこぼ・青梅のこぼ」を開催した。 参加人数 203人	○	講演会を開催することができ、203人の参加者を得ることができた。
	中央図書館管理課	10 ブックスタート事業	乳幼児健診時において、希望する保護者に対し、絵本の読み聞かせ等の相談とブックスタート・リーフレットの配布を実施します。	健康課との共催で、乳幼児に対する絵本の配布と、4月6日から3月15日までの延べ24回、乳幼児健診時において、絵本の紹介とブックスタート・リーフレット「あかちゃんといっしょに」の配布を行った。中央図書館で行う乳幼児向けおはなし会の案内も行った。延べ参加人数 1,661人	○	1年を通じて事業を実施し、1,661人の参加者を得ることができた。
	農林課	11 協働木育講座「はじめてのおもちゃづくり」	産まれてくるまたは生まれた我が子のために、はじめてのおもちゃ(ファーストイ)を木でつくる木育の推進事業を実施	実施日 10月6日 会場 市役所会議室 参加人数 13人	○	親が作ったおもちゃ、また青梅の住むものとして青梅の木で作ってあげられることが記念になり、よかったとのアンケート結果から一定の成果を上げることができた。
(2) 小・中学校教育の充実	指導室	12 教員研修	教員の資質や能力の向上を図るため、職層や教職経験に応じた研修、専門的研修を実施します。	校長研修 2回 副校長研修 2回 教務主任会 8回 生活指導主任会 11回 若手教員育成研修1年次10回 若手教員育成研修1年次(宿泊研修)1回 若手教員育成研修2年次 4回 若手教員育成研修3年次 4回 市内視察研修 1回 中学校進路指導主任会 3回 新任主幹教諭研修 1回 人権教育研修 6回 学校教育相談研修 1回 情報セキュリティ研修 3回 特別支援教育理解研修 2回 教育経営研修 1回 情報教育推進委員会 3回 水泳指導研修 1回 普通救命講習 1回 教育課題研修 2回 10年経験者研修 10回 特別支援教育コーディネーター研修 3回 小学校外国語活動研修 2回 食育リーダー連絡会 3回 柔道(武道)研修 1回	○	予定したとおりの回数を実施できた。 内容については、現在の教育課題である。
	指導室	13 教育研究支援	教育課題の解決、教科指導法の改善等の研究を支援し、より良い学校教育を目指す。 ・研究指定校、教育研究会、校内研修に対する支援	・研究指定校等への支援 小・中学校合わせて6校の研究を支援した。 ・教育研究会への支援 小学校4組・中学校3組が研究成果を発表した。 ・校内研修に対する支援 担当指導主事を中心に年間100回程度の指導訪問を実施した。	○	各校の研究を支援し、教員の資質向上が図れた。
	指導室	14 教科指導等の充実	1 東京都の学力状況調査において青梅市の平均点が東京都の平均を上回ることを目標に、指導等を充実します。 2 いじめの根絶に向け、人権教育・道徳教育を充実します。 3 外国人英語指導助手(AET)を活用し、小・中学校の英語教育、国際理解教育を推進します。 4 地域社会・地域環境の理解を深め、社会の一員としての自覚を育てます。 5 児童・生徒の学力向上を図るため、市民センター等を拠点として、地域の人材をコーディネーターや指導者として活用し、土曜日に補習教室を実施します。	・国語、算数、数学の基礎的な学力の定着を図るため「青梅サタデースクール」の参加対象を市内全域に拡充した。 ・算数、数学の基礎的な学力の定着を図るため、東京都の委託事業「学力ステップアップ推進地域指定事業」を26校で実施した。 ・英語教育、外国語活動を目的にAETを全校に派遣した。(年間1,210日程度) AET担当者会を4回、小学校英語教科化研修会を4回実施し、AETの効果的な活用と指導についてを協議した。 ・副読本の活用と資料集の作成・活用 小学校3年生を中心に年間指導計画に位置付け、副読本を活用した授業を実施。 ・学力向上推進委員会を6回、道徳教育推進委員会を4回実施し、教員の資質向上を図った。	○	国の補助金や都の委託を受け、土曜日や放課後での教育課程外の教育環境を整備した。 土曜日の学習 市の「青梅サタデースクール」(年間20回)について、国および都の補助金を受け、会場を10か所から13か所に拡充することができた。 放課後学習 都の委託「学力ステップアップ推進地域指定事業」を受け、東小・中を除く26校で実施することができた。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(2) 小・中学校教育の充実	指導室	15 進路指導の充実	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自分の意志と責任で進路を選択決定する能力・態度を育てます。	・進路指導主任会を年3回実施し、各学校におけるキャリア教育の円滑な推進について協議・研修した。 ・中学生を対象に、3日間の職場体験活動を実施し、勤労観や職業観を育成した。	○	進路指導およびキャリア教育を推進する中で、社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を育てることができた。
	指導室	16 生徒指導の充実	豊かな人間性と社会性を育成するために、児童・生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識を高め、公共心をばぐみます。	・生活指導主任会(小・中学校)を年間5回実施し、情報交換や連携を深めた。 ・中学校生活指導主任連絡協議会を年間6回実施し、関係機関との情報交換や連携について協議した。	○	生活指導主任会や中学校生活指導主任連絡協議会での情報交換や他機関との連携を図りながら、豊かな人間性と社会性を育む取組を推進することができた。
	指導室	17 相談機関の充実	1 教育相談所 幼児・児童・生徒や保護者から、学校生活や家庭における問題、悩みについて相談に応じ、援助・助言を行います。 2 青少年相談室 青少年や保護者から、生活指導や性格、行動等の問題、悩みの相談に応じ、青少年等の非行防止と健全育成を図ります。 3 スクールソーシャルワーカーおよび心理相談員の派遣などにより、青梅市公立学校相談室と教育相談所等の連携を図ります。	・教育相談所 「青梅市いじめの防止に関する条例」にもとづき開催した「青梅市いじめ問題対策連絡協議会」および「青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会」において、教育相談所の職員が委員として出席し、連携について協議した。 ・青少年相談の実績は無かった。 ・スクールソーシャルワーカー2人による家庭訪問などを行い、39件の事例に対応した。 ・相談所における来所相談件数は年間434件で電話相談は48件。面談回数は、保護者2,170回、子供972回で合計3,142回であった。 ・青少年相談 学校や都教育相談センター、保健所などの関係機関と連携しながら課題解決に努めた。 ・スクールカウンセラーとの連携 東京都が市内全小・中学校にスクールカウンセラーを配置しており、教育相談所のスクールソーシャルワーカー等を介し、連携を図った。	○	教育相談所心理相談員の学校巡回により、学校のスクールカウンセラーとの情報交換が実施でき、いじめ関係の委員会から学校現場までの連携体制の充実が図れた。
	指導室	18 適応教室の充実	1 ふれあい学級 不登校児童・生徒に対し、生活習慣の確立および学習等の援助を行い、在籍校への復帰を支援します。 2 外国人児童・生徒学級 外国人児童・生徒および帰国児童・生徒に対し、日本語の指導を行い、安心して学校生活を送れるよう援助します。	・適応指導教室(ふれあい学級) 不安や悩みについての教育相談や習熟の程度に応じた学習指導を行うとともに、施設見学や料理教室の体験学習を3回実施した。 ・外国人児童・生徒学級 在籍児童・生徒数15人に対し、週2回の指導を実施した。	○	保護者の不安な気持ちに寄り添い、事前の面談の充実を図った。また、児童・生徒の実態に応じて支援ができるよう、学校との情報共有を密にした。
	指導室	19 情報教育の推進	児童・生徒の情報活用能力を育成し、確かな学力の向上を図るために、教科指導におけるICTの活用を推進します。	小学校5校へタブレット端末等を導入し、教科指導・校務環境を整備した。 小学校低学年では、基本的な操作の習得学習を行った。 小学校高学年および中学校では、各教科および総合的な学習の時間等におけるICTを活用した調べ学習やレポート作成を行った。	○	画面展開や動画により、より分かりやすい授業の工夫を発見することができた。 タブレットを含めて配付されているICT機器の有効活用が促進された。 教員各自においてもICTスキルを向上させることができた。
	指導室	20 芸術・技術教育の支援	「小学校造形作品展」、「中学校美術作品展」、「中学校美術作品展」、「中学校技術・家庭科作品展」を開催し、児童・生徒の豊かな心情の陶冶や芸術・技術能力の向上を図るとともに、広く市民に教科への理解を得ます。	・小学校造形作品展 会期 1月28日～1月29日 会場 青梅市立美術館 ・中学校美術作品展 会期 2月24日～3月2日 会場 中央図書館多目的室 ・中学校技術・家庭科作品展 会期 2月10日～15日 会場 中央図書館多目的室	○	・作品展に向けて、作品を製作する過程において自分なりに表現方法を工夫するなど豊かな情操を育むことができた。また、作品展を通して、自分の作品や他の作品の鑑賞をする中で、豊かな心情を養うことができた。
	指導室	21 スポーツ教育の振興	「中学校陸上競技大会」「中学校球技大会」「中学校球技大会」「中学校駅伝大会」の開催を通して、精神力や体力を磨けるよう支援します。	中学校体育連盟各部との連絡・調整を図りながら、会場確保等の事務を行った。 ・中学校陸上競技大会 実施日 7月19日 会場 都立阿伎留台公園 ・中学校総合球技大会 実施期間 8～9月 会場 市民球場ほか ・中学校駅伝競走大会 実施日 11月9日 会場 明星大学敷地内特設コース ・中学生東京駅伝大会への参加 実施日 2月5日	○	7月の「中学校陸上競技大会」、11月の「中学校駅伝競走大会」ともに、例年どおり実施できた。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由	
(2) 小・中学校教育の充実	教育指導担当	22 特別支援学級の運営	児童・生徒の障害に応じたきめ細かな教育を実施していくため、教育環境の整備を図ります。特別支援学級設置校に介護員を配置します。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の整備 東京都の制度改正に伴い、情緒障害等通級指導学級が廃止され、全公立小学校に特別支援教室を導入することとなった。このことに伴い、市内小学校(東小を除く)への特別支援教室導入について、平成29年度は6校、平成30年度は10校に導入する。 平成28年度においては、平成29年度導入校について、工事、備品・消耗品購入、周知等、導入に必要な準備を行った。(平成29年度導入校は、第一小・第二小・第五小・第六小・河辺小・友田小の6校) ・介護員の配置 特別支援学級(固定)における児童・生徒の学校生活および学習活動の補助ならびに教員の教育活動を支援するために特別支援学級介護員(小学校22名 中学校15名)を配置した。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の整備 平成29年度特別支援教室導入校について、導入準備ができた。 ・介護員の配置 特別支援学級(固定学級)に在籍する児童・生徒数に合わせ、全体では昨年度より2名多い37名(小学校22名・中学校15名)の介護員を配置し、児童・生徒への指導の充実を図った。 	
	市民センター	23	会議室の提供、用具・備品等の貸出しなど	PTAが主催する講演会や研修視察等に対し、会議室の提供、用具・備品等の貸出しなどの支援を行った。	○	希望する日時に提供でき、PTA活動支援のため、一定の成果を上げることができた。	
	社会教育課	24	PTAの活動への支援	小・中PTAが主催する講演会や研修視察等に対する援助を行い、子どもたちの健全な成長を目指して、親と教師が協力して家庭・学校・地域の教育力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校のPTA活動を支援した。 ・PTA連合会主催講演会の支援を行った。 ・用具・備品の貸出しを行った。 	○	青少年健全育成備品の貸出しや、PTA活動、講演会の支援を継続的に実施したため。
(3) 家庭・学校・地域の連携	市民活動推進課	25	協働事業の支援	<ul style="list-style-type: none"> 行政と市民活動団体との協働事業を、青梅ボランティア・市民活動センター・市民活動センターと連携して支援・推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 青梅ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動団体に関する総合的な相談窓口を設置し、情報の収集および発信、ニーズのコーディネート等、行政と市民活動団体との協働を推進している。 月1回の情報交換会を通して、協働事業や市民活動団体の活動状況等について情報共有した。 市民提案協働事業募集の周知等を青梅ボランティア・市民活動センターからも行うなどの連携を図った。 青梅ボランティア・市民活動センター職員が青梅市協働事業市民推進委員会委員として、協働事業の評価等について協議を行った。 	○	平成28年度も様々な事業を通じて、青梅市における協働事業の推進を図ったため。
	市民センター	26	青少年対策地区委員会事業への支援	<ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全育成を目指して実施する様々な青少年対策事業に支援協力を行います。「健全育成チラシ」の配布、「健全育成標語看板」の作製などを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年対策事業の事務的支援および会議室の提供、備品の貸出等を行った。(各市民センター) ・ティーボール大会、青梅っ子わいわいフェスタ、ミニ青梅マラソン大会、青梅地区親子ふれあい綱引き大会(青梅C) ・親子ふれあい綱引き大会(長淵) ・球技大会、親子綱引き大会、社会を明るくする運動、霞川清掃(大門C) ・梅郷子ふれあい塾、講演会、綱引き講習会&キンボール教室、防犯パトロール(梅郷C) ・多摩川遊歩道パトロール、親子ふれあい綱引き大会、キンボール教室、ランニング教室、音楽会(沢井) ・ジュニアリーダーキャンプ教室、青少対、小中PTAで行う3団体講演会(小曾木C) ・ジュニアリーダーキャンプ教室、スイカ割&マスつかみ取り体験教室、少年少女マラソン大会(成木C) ・親子ハイキング、青少年球技大会、親子ふれあい綱引き大会(東青梅C) ・ドッジボール大会、天体観測会、親子芋掘り教室、スプリングコンサート(新町C) ・多摩川1万人の清掃大会参加、体験講座じゃが芋堀大会、健全育成立て看板の設置、防犯パトロール、親子ふれあい綱引き大会(河辺C) ・少年少女球技大会、社会を明るくする運動講演会、ふるさとまつり2016のゲームコーナー・ふれあい動物まつり(今井C) ・青少年健全育成チラシを作成し、地区内自治会、子ども会育成会に配布した。また、健全育成立て看板の作製をし、地域内に設置するための支援を行った。(各市民センター) 	○	<ul style="list-style-type: none"> 事務的、人的協力を行い各種行事の開催がスムーズに運ぶよう協力することが出来た。 青少年活動として各活動とも人気も高く喜ばれており、地域の方々の繋がりにも 寄与している。 青少年健全育成のため、各種事業への支援、協力を行い、一定の成果を上げることができた。 また、チラシや看板の作製を行い、青少年健全育成活動を地域ぐるみで取り組むことの大切さを啓発することができた。
	子ども家庭支援課	27		<ul style="list-style-type: none"> 各地区における青少年の健全育成事業の推進を図るため、青少年対策各地区委員会に対し、補助金を交付した。補助金交付額計:2,100千円 ・青少年健全育成チラシの配布を行った。 ・第15回青梅市親子ふれあい綱引き大会を開催した。参加チーム数:86チーム、参加者数:1,650人(応援者を含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の活用により、青少年対策各地区委員会において、青少年の健全育成を目的とした各種事業が実施されていることについて、事業実績報告書により確認したところ、前年度と同規模の事業が実施されていたため。 ・青少年健全育成チラシについて、全小・中学生および関係機関に配布するとともに、自治会回覧により周知に努めているため。 ・親子ふれあい綱引き大会への参加チーム数については微減傾向にあったが、今年度は昨年度より7チーム増え、市内全地区からの応援者を含めた参加者についても増加した。開催の目的が概ね達成されているため。 	○	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由	
(3) 家庭・学校・地域の連携	市民センター	28	青少年が地域で健やかに成長できるよう、学校等とも連携し余暇指導、青少年指導者への協力および青少年団体の指導育成を行います。	<p>青少年が地域で健やかに成長できるよう、余暇指導、青少年指導者への協力を行った。(各市民センター)</p> <p>青少年対策青梅地区委員会において、現青少年委員を常任委員と位置づけ、各種青少年対策等で各種団体の連携調整および指導的役割を担った。(青梅C)</p> <p>青少年委員の協力のもと青少年の指導育成事業としてジュニアリーダー講習会を実施した。(長淵C、小曾木C、東青梅C、新町C)</p> <p>キャンプ教室(1泊2日)を支援・協力した。(小曾木C、成木C共催)</p>	○	<p>推薦した子供会は優良青少年団体として表彰され、日ごろの活動の評価につながったため。(青梅C)</p> <p>青少年の育成の支援の一つとして、地域内のジュニアリーダーの養成を支援し、もって地域の青少年の健全育成を図る取り組みを支援している。</p>	
	社会教育課	29	青少年委員活動	<p>・定例会12回(毎月第二火曜日)</p> <p>・委員研修 実施日 5月28日 会場 風の子太陽の子広場 野外炊事活動についての研修を実施した。</p> <p>・多摩第3ブロック研修 実施日 10月22日 会場 檜原村総合運動場 たくさんの参加者で可能なスポーツ教室として、グランドゴルフ競技体験を実施した。</p> <p>・青少年リーダー育成研修会への協力</p> <p>・成人式への協力</p> <p>・自主事業の実施</p>	○	<p>各地域においてジュニアリーダー講習や子供会等に協力し青少年活動の指導を行った。</p> <p>また、定例会を開催し、各地域での活動報告や自主事業の企画等を話合った。</p> <p>青少年の余暇指導のため各種研修を実施した。自主事業を2回実施した。</p> <p>青少年委員の周知を図るため広報紙「みらい」を発行した。</p>	
	子ども家庭支援課	30	青少年問題協議会	<p>青少年の健全育成を目指して青少年健全育成基本方針の策定や様々な支援協力を行います。</p> <p>「健全育成チラシ」や「休みのしおり」の作成などを行います。</p>	<p>・「青少年健全育成チラシ」を作成し、小・中学校、各市民センター、関係機関等に配付するとともに、全ての自治会に回覧を依頼した。また、「休みのしおり」を3回発行し小・中学校の児童・生徒に配布した。</p> <p>・協議会を以下の内容により2回開催した。</p> <p>【実施日:7月7日】 平成27年度青少年健全育成活動状況について 平成28年度青少年健全育成活動計画について 平成28年度青少年健全育成環境整備対策について 最近の少年非行について 情報交換</p> <p>【実施日:2月13日】 平成28年度青少年健全育成活動状況について 青少年健全育成チラシについて 最近の少年非行について 情報交換</p>	○	<p>協議会を開催し、青少年指導、育成、保護および矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整が図られており、事業として健全育成チラシ等を作成し配布したほか、環境整備対策として、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア等の経営者に対し、青少年の非行防止と健全育成への協力について依頼し青少年の健全育成に努めているため。</p>
	社会教育課	31	子ども会・保護者会等の学習活動への支援	<p>子ども会・保護者会等の学習活動に対する支援を行い、青少年の健全育成を図ります。</p>	<p>用具・備品の貸出を行った。</p> <p>子ども会への貸出し備品数は68件。</p>	○	<p>用具の貸出しのみならず、老朽化した備品については貸出し状況を勘案しつつ、順次更新を行った。</p>

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(3) 家庭・学校・地域の連携	社会教育課	32 放課後子ども教室	スポーツや文化活動やさまざまな体験活動、地域住民との交流活動などを実施します。学ぶ意欲のある子どもに、学習機会を提供します。	成木小学校を新規開設校とした計11校で、おうめ放課後子ども教室「タやけランド」を実施した。また、各教室では放課後児童クラブと週1回程度の一体・連携開催を実施した。 ・第二小学校(全43回) バドミントン、ボール遊び、工作、自主学習ほか 延べ参加人数 2,542人 ・第三小学校(全33回) バドミントン、縄跳び、工作、フラフープ、サッカーほか 延べ参加人数 2,048人 ・第四小学校(全61回) 自主学習、工作、紙芝居、卓球、サッカーほか 延べ参加人数 5,224人 ・第五小(全119回) 自主学習、工作、うつし絵、バドミントン、フリスビー、サッカー、ドッチボールほか 延べ参加人数 6,519人 ・第六小(全34回) 自主学習、折り紙、テニス、バドミントン、ボール遊び、サッカーほか 延べ参加人数 2,000人 ・第七小(全103回) 自主学習、工作、卓球、ドッチボール、バドミントン、サッカー、一輪車ほか 延べ参加人数 4,724人 ・成木小(全30回) 自主学習、折り紙、バドミントン、ドッチボールほか 延べ参加人数 1,036人 ・河辺小(全23回) 自主学習、工作、ドッチビー、けん玉、バスケットボールほか 延べ参加人数 1,702人 ・霞台小(全22回) 自主学習、折り紙、囲碁道場、サッカー、バドミントン、ビーチボール、野球ほか 延べ参加人数 1,284人 ・友田小(全35回) 自主学習、バスケットボール、サッカー、カードゲーム、バドミントンほか 延べ参加人数 2,061人 ・今井小(全34回) 自主学習、工作、フラフープ、ドッチボール、ドッチビーほか 延べ参加人数 2,514人	○	新規校については、6月から開始し、順調に実施することができた。また、放課後児童クラブとの一体・連携開催についても各教室で週1回程度の実施を行うことができた。
	中央図書館管理課	33 職場体験事業	職場体験学習として市内の中学生、高校生を受け入れ、図書館業務全般を体験します。	5月24日から2月17日にわたり、市内・市外の中学生および高校生を受け入れ、図書館業務全般について、体験学習を実施した。 中学校 9校 26人、高等部・高等学校 2校 27人	○	各学校からの要望により、中学校および高等部・高等学校を合わせて全11校、53人の生徒を受け入れた。
	指導室	34 地域人材の活用	地域の優れた人材を掘り起こし、地域と学校が連携協力し、子どもたちの健全育成に活用します。	地域人材をゲストティーチャーとして、総合学習、放課後の補習などを行った。 また、保護者等のボランティアにより、図書室の整備等が行われた。	◎	「青梅サタデースクール」では、会場を10カ所から13カ所に拡充することに伴い、校長が卒業生や地域の方などを支援員として推薦。地域人材を増員した。 また、放課後等の補習では、都の委託事業「学カステップアップ推進地域指定事業」を受け、26校が延べ174人の地域人材を配置した。 地域と学校がより一層の連携を図り、地域人材を効果的に活用できた。
社会教育課	35		地域の人材を放課後子ども教室で活用した。 親子での文化体験や生涯学習推進市民会議企画の講座等の講師として活用した。	○	「国際理解講座公開講座 夏の特別教室～茶道教室～」 「楽しい先生が教える！水墨画教室」 「初心者のかき作り講習会」等の講座で講師として活用した。	

2 生涯学習の場と機会の拡充

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 有効活用	スポーツ推進課	36 学校体育施設開放	生涯スポーツの普及・発展、市民の健康と体力の増進を図るため、小・中学校の体育施設(校庭・体育館)を市民スポーツ団体の利用に供します。	登録団体 221団体 利用回数 6,371回 利用人数 161,168人	○	市内の団体への貸出を行うことで、レクリエーションの場としての施設の活用を図った。利用団体への利用に関するマナーの徹底や近隣住民への事業実施に関する理解促進について引き続き課題が残る。
	秘書広報課	37 公共施設見学会	市内の公共施設等の状況を見て、考えていただく機会を提供するため、市民を対象に実施します。	青梅市中央図書館と青梅市役所の見学会を開催した。 実施日 8月8日、3月23日 実施回数 2回 参加人数 青梅市中央図書館20人(小学生の親子)、青梅市役所10人	○	公共施設の設置目的や機能、サービスの内容について、市民の理解を促すことができた。
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	高齢介護課	38 福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢者が趣味を広げ、教養を深められるよう各種講座を開催します。活動の成果を発表する場として、高齢者教養講座合同文化祭を開催します。	高齢者教養講座を5講座実施した。 詩吟 年23回 13人 毛筆 年18回 32人 ペン習字 年18回 23人 茶道 年24回 10人 華道 年18回 7人 平成28年度高齢者教養講座合同文化祭開催 会場 福祉センター 参加者 250人	○	高齢者教養講座は、生きがいのある生活や高齢者の外出支援となっている。また、成果を発表する場である文化祭を開催することで、日々の活動に向上心を持つことができる。さらに、地域とのふれあいにつながり、高齢者活動のPRになっている。
	高齢介護課	39 地域保健福祉センター高齢者教養講座の開催	高齢者の生きがい、健康増進、教養を高めることを目的に、沢井・小曾木保健福祉センターでは、各種教室を開催します。	高齢者教養講座を4講座実施した。 沢井保健福祉センター 茶道 年30回 5人 華道 年20回 7人 小曾木保健福祉センター 絵画 年31回 13人 合唱 年29回 42人	○	生きがいのある生活や高齢者の外出支援として効果的であり、地域高齢者のふれあい・親睦の場となっている。
	高齢介護課	40 敬老会	75歳以上の方を総合体育館に招待し、式典・演芸を行い、長寿をお祝します。	75歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催した。 開催日 10月1日(土) 会場 総合体育館 参加者 2,302人	○	地域高齢者のふれあい・親睦の場となっている。さらにその発表者や芸能人目当てに参加する高齢者の外出支援にもつながっている。
	商工観光課	41 観梅市民まつり	3月、「市の花」の梅が満開の吉野梅林において、俳句大会を始め様々なイベントを楽しみながら、自然に親しみ、参加者同士が交流を深めることができる機会として開催します。	梅の公園をはじめとする一部の地域で再植栽が国に認められたため、11月23日に植樹式を行い、その後、梅の公園には600本、中道梅園には36本の梅樹を植栽した。また3年ぶりに「吉野梅郷梅まつり」を再開した。 観梅市民まつり 実施日 3月12日(日) 会場 神代橋通り 参加者 12,000人	○	梅の再植栽が始まり、3年ぶりに梅まつりが再開できたため
	商工観光課	42 後援等協力事業	青梅市の産業や観光を知り、自然に親しむ機会や参加者同士の交流が図れる機会として、産業観光関連のイベントに協力します。 ・産業観光まつり、カンタンを聞く会	・第49回青梅産業観光まつり 実施日 11月5日(土)、6日(日) 会場 永山公園グラウンド 参加者 45,000人 ・第61回カンタンをきく会 実施日 9月3日(土)～4日(日) 1泊2日 会場 御岳山 参加者 58人	○	産業観光まつりは、前年度より多くの方に来場していただいた。カンタンをきく会は、毎年参加者に好評であり、第61回と長く開催できているため。
商工観光課	43 昭和レトロ商品博物館	商店街空き店舗活用推進事業として、平成11年に住江町に開館した博物館。昭和30～40年頃のお菓子や薬などの商品パッケージを中心に、昭和を彩った懐かしい商品文化をお楽しみください。2階には、小泉八雲作の「雪女」と関わりのある資料を展示。	・昭和レトロ商品博物館 入場者数 15,464人	○	商店街の活性化、空き店舗をなくすことを目的にされた商店街活性化事業であり、商店街の景観維持の意識やまちづくり意欲を高めるとともに、青梅中心市街地の観光スポットのひとつとして、来街者の集客に大きな効果があった。	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	商工観光課	44 青梅赤塚不二夫会館	商店街振興事業として、住江町商店街振興組合が、青梅駅周辺商店街の賑わいを創出するため、平成15年10月に開館。 明治時代後期の蔵に昭和を代表する漫画家「赤塚不二夫氏」の原画や貴重な写真などを展示。	・青梅赤塚不二夫会館 入場者数 16,057人 ・青梅赤塚不二夫会館 13周年企画 もーれつア太郎誕生50周年記念の青梅宿・ア太郎まつり 実施日 10月15日～31日 会場 青梅赤塚不二夫会館 来場者 2,000人	○	青梅駅周辺商店街の中心的存在となる赤塚不二夫会館では、赤塚不二夫作品のアニメ放映の効果もあり、遠方からの来館者も増加した。関連施設も相乗効果で入館者数増が見られ、隣接する個店に止まらず、青梅駅周辺商店街の振興に繋がった。
	農林課	45 シイタケ栽培講習会	農業への理解を深め、収穫の喜びを体験していただくための講習会を開催します。	開催日:2月25日 会場:花木園 内容:原木への種ごまの打ち込み、育成管理指導 指導:青梅きのこ生産振興会 参加人数:70人	○	例年募集人数に対して、応募が倍以上ある。参加者からは、講義と実習を通して、直接農業生産の仕組みを知ることができると好評を得ている。
	農林課	46 青梅市農業祭	市内の農畜産物の展示や直売などにより、農業への理解と関心を深めてもらうとともに、参加者同士のふれあいの場を提供します。	実施日 11月5日～11月6日 会場 永山公園総合運動場 内容 第49回青梅市農産物共進会(出品数239点)、農産物等の直売・半額セール	○	農産物の展示や直売などにより、地産地消の推進、農業への関心を深めてもらうことができた。
	社会教育課	47 16ミリ発声映写機・ビデオプロジェクター操作講習会	映写機の操作方法、映写方法、映写会場の作り方などを学ぶ講習会を実施します。	・ビデオプロジェクター操作講習会 6月10日、2月10日、2月13日実施 計52人修了 ・16ミリ発声映写機操作講習会 9月25日実施 計2人修了	○	ビデオプロジェクター操作講習会は、6月10日に9名、2月10日は12名の参加があった。2月13日はNPO法人青梅こども未来が団体で受講し、31名が参加した。
	社会教育課	48 成人式	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。 1月第2月曜日(成人の日) 総合体育館ホール	実施日 1月9日 会場 総合体育館 出席者数 1,107人 昨年度に続き新成人インタビューを実施し、プロジェクターを通して会場内へ流した。式典終了後、新成人へ向けたワークショップを開催した。 新たに誓いの言葉を行った新成人によるピアノ演奏を行った。	○	例年並の出席者数であった。昨年度からの試みについては、会場を盛り上げることができた。雨天だったため、例年より早く会場に新成人が入ったが、その分受付に人がたまってしまったため、来年以降より一層の工夫を行う必要がある。式典は比較的静かに厳かに行われた。
	社会教育課	49 掌理団体定期演奏会等	・青梅児童合唱団定期演奏会 ・青梅市青少年吹奏楽団定期演奏会 ・青梅市民合唱団定期演奏会 ・ファミリーコンサート ・ミニコンサート	・市民合唱団 第51回 定期演奏会 実施日 12月11日 観客数 600人 ・青少年吹奏楽団 第47回 定期演奏会 実施日 10月15日 観客数 160人 ・児童合唱団 第39回 定期演奏会 実施日 9月11日 観客数 320人 ・3団体合同 第40回 ファミリーコンサート 実施日 4月10日 観客数 350人 第41回 ファミリーコンサート 実施日 3月20日 観客数 400人	○	各掌理団体の定期演奏会を行い、日頃の練習の成果を市民に発表することができた。一部の演奏会では観客数が少なかったため、今後は周知等を工夫する必要がある。
	社会教育課	50 市民大学	人文・社会科学・自然科学・産業技術・芸術文化・市民生活・国際関係等の中から現代的課題に対応する学習機会を提供していきます。	・青梅鉄道公園の保存車両で学ぶ鉄道の歴史(31人) ・国立新美術館開館10周年「エコ文化年事業」関連文化講演会(161人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 2講座 192人	○	市内に文化施設がある、鉄道についての講座を実施した。また、NHKの美術展関連文化講演会を利用した。どちらの講座も参加者から好評であった。今後も様々な分野の講座をバランスよく企画していく。
	社会教育課	51 農業食育体験教室・ふれあいまつり販売体験	野菜の栽培や収穫、勝利までの作業を体験し、農作業への関心をもち理解を深めることを目的に、半年間の体験教室を行います。ふれあいまつりに参加し、野菜の販売体験を行います。 ・東京都農林水産振興財団・青梅食育クラブ共催事業	農業・食育体験教室として全8回の講座を実施し、農業や食育について学んだ。また講座の中で河辺ふれあいまつりに参加し、講座で育てた野菜を販売する体験を行った。 農業・食育体験教室 延べ参加人数 336人	○	収穫以外の農作業を体験し、また作ることと食べることをつなぐために料理教室や試食だけではなく、販売体験も行った。参加者同士の交流をさらに促進し、体験活動の充実を図る。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	社会教育課	52 豊かに生きるための教室・講座等の実施	趣味を広げ、知識・教養を深め、参加者同士の交流を広げるため、人生を豊かにする教室・講座等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者の菊作り講習会(14人) ・親子で科楽！プラネタリウム見学会(32人) ・夏のサイエンスキッズ1講座(41人) ・国際理解講座特別講座4講座(201人) ・飛び出せ！サイエンスファミリー(42人) ・冬のサイエンスキッズ1講座(35人) ・青梅鉄道公園の保存車両で学ぶ鉄道の歴史(31人) ・国立新美術館開館10周年チエコ文化年事業「ミュシャ展」関連文化講演会(161人) 青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 <ul style="list-style-type: none"> ・夏の子ども美術教室～仮面をつくろう～(10人) ・ストーリーテラーと影絵劇～生きた影絵の物語～(112人) ・冬のフラダンス講座(28人) ・冬の芸術講座3講座(167人) 市民センター共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴムで飛ばす飛行機(20人) ・クリスマスリース(18人) ・苔玉作り(17人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 15講座 929人	○	少年教育から成人教育まで幅広く行い、その形態も講演会形式、体験型など様々な形で行った。新たな試みとして、市民会議企画講座として体育館を使った影絵劇の事業を行った。今後も様々な講座をバランス良く企画する。
	社会教育課	53 生涯学習フェスティバル(釜の淵新緑祭)	新緑の釜の淵公園・郷土博物館・美術館・旧宮崎家・釜の淵市民館を生涯学習サークルの発表の場とし、楽しいイベントを通じた市民の交流の場とします。	生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2016～ 実施日 5月14日、15日 会場 釜の淵公園および周辺施設 延べ参加人数 4,322人 新たに、会場内で障がい者団体および市内業者による飲食物販売を実施した。	○	41イベントを実施した。実行委員会形式による開催で、準備や片付けなども実行委員協力のもと行った。今年度から障がい者団体に加え市内業者により飲食物販売を実施した。売り上げの一部は熊本地震義援金として寄付を行った。
	文化課	54		郷土博物館、旧宮崎家住宅を発表の場として会場を提供した。	○	実行委員会協力のもと、会場準備、開催を実施し、発表の場としてスムーズに実行できた。
	文化課	55 展示(郷土博物館)	収蔵資料を中心に青梅市の歴史や自然を紹介する常設展、寄贈された民具や古文書を紹介する新収蔵品展、郷土の歴史や文化財をテーマとした企画展・特別展を開催します。	常設展「郷土のあゆみ」通年実施 企画展「中世青梅の信仰と文化」4月1日～4月17日開催 観覧者数 1,310人 企画展「～あの頃は若かった～映画から見る青梅の生活展」4月29日～8月7日開催 観覧者数5,670人 「新収蔵品展2016」8月20日～10月10日開催 観覧者数1,688人 企画展「青梅の食文化」10月22日～1月15日開催 観覧者数2,832人 企画展「一名主が見た江戸時代～谷合氏見聞録の世界～」1月28日～3月31日開催 観覧者数2,701人	○	展示期間、テーマ、時代の工夫を凝らし、年4回の企画展を実施したが、広報宣伝活動が来場促進に結びつかず、観覧者数は昨年度より減少した。
	文化課	56 郷土博物館講座	郷土史関係の資料や展示資料を中心に講演会、解説講座を開催します。	「一名主が見た江戸時代～谷合氏見聞録の世界～」関連講座 実施日 3月20日 講師 馬場 憲一 参加人数39人	○	展示をより詳細に解説する企画展関連講座では、毎回多くの参加者をいただき、今年度は特に講座終了後に博物館企画展を見学していただき、知識を深めてもらった。
	文化課	57 文化財の調査保護	市内の新たな歴史発掘のため、各種文化財等の調査を実施するほか、指定文化財の保存事業として、文化財所有者に対する修理補助を実施します。	○開発などに伴う埋蔵文化財確認調査8件 ○文化財保存修理補助事業 <ul style="list-style-type: none"> ・東京都指定有形文化財「馬場家御師住宅」茅葺屋根等修復修理 補助額 3,375千円 ・東京都指定有形文化財「虎柏神社本殿」境域復旧 補助額134千円 ・青梅市指定史跡「武蔵御嶽神社」拝殿・幣殿漆塗り替え修理 補助額 9,069千円 ・青梅市指定有形文化財「報恩寺地藏堂」自動火災報知設備修理 補助額 598千円 	◎	埋蔵文化財の確認調査は、開発などによって破壊される前に実施し、遺跡の内容を把握するうえで成果を上げた。文化財保存修理補助事業においては、文化財の保存ならびに文化財所有者の負担軽減となる補助事業となり、成果を上げた。
	文化課	58 文化財の紹介・普及	文化財等の解説を広報などに掲載します。また、市内の文化財を歩きながら見て回る事業を実施し、加えて文化財解説ボランティアを養成し、その解説活動を支援します。	・「ふるさとの文化財」「青梅市の文化遺産」青梅市広報毎月15日号に掲載 ・「青梅市文化財ニュース」毎月15日発行 ・「文化財保護指導員活動報告書」毎年発行 ・文化財めぐり「わがまち青梅」の開催(4月23日、11月5日、3月25日) ・文化財地図「青梅を歩く」の発行 ・老壮大学等主催の講演会の講師	○	各事業において、文化財の紹介、解説活動を実施し、普及に努めた。文化財地図は、平成19年に発行された第2版に文化財の解説や内容の見直しを行い、発行した。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	文化課	59 実技講座(美術館)	絵画や版画の実技を通して、美術に親しんでいただきます。市民を対象に年2～3講座実施します。	実技講座 ・「水辺スケッチ会」(一般対象) 講師 平野健太郎氏(日本画家) 実施日 7月2日 参加人員 23人 ・「梅の茶碗を作ろう」(小学4年生以上) 講師 鈴木寿一氏 実施日 10月1日 参加者 15人 ・「梅をテーマにお皿に絵付けしよう」講師 鈴木寿一氏 実施日 10月15日 参加者 7人	○	「水辺のスケッチ会」は、教材調達の関係から応募制で実施し、定員を上回る盛況ぶり、受講者の満足度は高かった。 「梅の茶碗を作ろう」と「梅をテーマにお皿に絵付けしよう」は、共催展「2016青梅アート・ジャム「梅に捧げる」」のワークショップとして実施した。参加者が作った作品は、展示もされ、最終日には参加者に持ち帰ってもらったこともあり好評であった。
	文化課	60 常設展(美術館)	青梅市ゆかりの作家小島善太郎、藤本能道の作品を常時展示紹介いたします。	青梅市ゆかりの作家小島善太郎、藤本能道の作品をコレクションから適宜選び出し、常設展示コーナーに小島作品6点、藤本作品4点程度を展示した。また、企画展等の日程に合わせて、6回展示替えを行った。 ※市役所2階展示コーナーに小島善太郎、藤本能道の作品を展示した。年3回展示替えした。	○	美術館のほか、市役所2階展示コーナーを使用し、展示替えを行うことによって、多くの収蔵作品を市民に紹介した。
	文化課	61 特別展・企画展(美術館)	一定のテーマに従い、画家や版画家の回顧展、分野や時代別の展覧会を開催します。(企画展は、館蔵品を活用し、一定のテーマに従って作品を選び出し、展示します。特別展は原則、他の美術館等から作品を借用して展示する展覧会で、隔年で開催します。共催展は、美術館と他団体との共催事業です。)	・特別展「懐かしの映画ポスター展—スクリーンに集いし、あの日のあの日—」61点 会期 4月9日～5月29日 観覧者数 1,307人 ・企画展「水の美術—水辺、ときどき雨—」28作家 39点 会期 6月4日～7月18日 観覧者数 1,044人 ・企画展「山の日施行記念展—家族で美術館へ登山に行こう!—」27作家 41点 会期 7月23日～9月4日 観覧者数 1,229人 ・共催展「2016青梅アート・ジャム「梅に捧げる」」13作家 26点 会期 9月17日～11月13日 観覧者数 1,401人 ・企画展「目は口ほどにものを言う—見逃すな、人物画の「目」—」30作家 44点 会期 11月19日～1月9日 観覧者数 825人 ・共催展「青梅市小学校造形作品展」約1,000点 会期 1月28日～29日 観覧者数 3,434人	◎	当館では特別展と公募展を隔年で開催しており、本年度は公募展開催の年であった。しかし、他機関から作品を借用する特別展を、最低でも1年に1本開催しなければ、美術館の存在意義は示せず、今回は前年度に杉並区立郷土博物館分館で開催した展覧会を拡充した「映画ポスター展」を開催した。本展は有料広告の出稿を取りやめる等の経費を圧縮した「準特別展」扱いであったが、友好協定を結ぶ杉並区との連携も図れ、かつ「映画」をキーワードとする「文化課3館合同事業+1」の開催にもつなげられた点は、大いに意義があったと思われる。一方、本年から「山の日」が祝日となったことにちなんで「山の日施行記念展」と、その前の梅雨時期に開催した「水の美術」は、それぞれ時機を得た企画として好評であった。特に、後者においては青梅市指定文化財である大下藤次郎の《万年橋》が、久々に市内で公開されたことから反響が大きかった。年間を通じて、さまざまなジャンルや切り口の展覧会を提供できた。
	文化課	62 ビエンナーレOME	東京都全域を対象に、多くの優れた新人画家の発掘をめざす公募展を隔年で開催します。	東京都在住・在勤・在学者を対象に平面作品(日本画・洋画・版画・その他)を公募し、入選作品を展示した。 応募者数 76人 作品数 76点 選考期日 1月15日 選考委員 中島千波(画家)、野地耕一郎(美術評論家)、佐々木里加(画家) 選考結果 大賞 1点、準大賞 1点、佳作 3点、特別賞 1点 入選 24点 公募展「ビエンナーレOME2017」の開催 会期 2月25日～3月20日 観覧者数 849人	○	前回よりも19点多い、76点の応募があった。その中から入選作品を30点選出し展示した。前回から応募資格を都内在住から在勤、在学も認め、その成果が表れた。入場者数は21日の会期に対して849人だった。大賞受賞者が、青梅市民であったことも好評であった。
	文化課	63 美術講演会	画家や美術評論家を講師に迎え、美術に関する講演会を開催し、美術の関心を深めていただきます。	7月に実技講座「水辺のスケッチ会」、8月にミュージアムコンサートと重なり、開催できなかった。	×	
	文化課	64 市民映画会	広いジャンルの話題作・名作を上映します。	・伊豆の踊子 実施日 5月7日 入場者数 259人 ・子ども映画まつり ～くまおはなし～ 実施日 7月30日 入場者数 391人 ・60歳のラブレター 実施日 9月24日 入場者数 359人 ・花のあと 実施日 3月4日 入場者数 510人	○	アンケート調査などを基に、市民等来場者のニーズに応えられるよう、映画会の演目を決定した。
	文化課	65 市民劇場	芸能の各分野で活躍しているプロを招いて、身近に鑑賞することにより教養を高めます。	・生誕100年来日60年記念コンサート ベレス・ブラード楽団 実施日 8月4日 入場者数 564人 ・春風亭小朝独演会 実施日 10月8日 入場者数 588人 ・川井郁子ヴァイオリンコンサート 実施日 12月25日 入場者数 587人 ・宇崎竜重弾き語りLIVE2017 実施日 2月25日 入場者数 590人	○	ベレス・ブラード楽団は、宝くじ文化公演だったため、公演委託料の節減が実現できた。いずれも満席に近い観客だった。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	中央図書館管理課	66 中央図書館講座等	図書館の広報と利用者サービスの拡充を図るため、原画展や講演会などを実施します。	市民の教育と文化の向上を図るための学習機会を提供するため、次のとおり各種事業を実施した。 ○視聴覚コーナー資料展示(2階フロア) 4月20日～2月28日 6回 ○資料展示(3階フロア) 4月1日～3月31日 20回 ○児童コーナー資料展示(3階フロア) 4月20日～3月31日 10回 ○資料展示(4階フロア) 4月28日～3月31日 8回 ○企画展示(図書館ワンダーランド) 3月20日 参加人数174人 ○分館資料展示 4月8日～3月31日 ○市民講座 ・「見て！聞いて！体験して！親子で学ぶ応急救護」9月10日 参加人数 128人 ・「まちゼミでおなじみ！やっちゃんのジャズ講座」12月17日 参加人数 39人 ○論語講座 5月8日～2月5日 10回 参加人数 259人 ○音訳者養成講座(初級) 9月27日～12月13日 10回 参加人数 236人 ○音訳者養成講座(中級) 5月10日～8月9日 10回 参加人数 209人 ○対面朗読講習会 9月14日 参加人数19人 ○すばらしい紙芝居と演じ方講座 10月22日、23日 参加人数 20人 ○朗読会 ・この指とまれ朗読会 5月21日 参加人数 90人 ・古典の日朗読会「おくのほそ道」11月5日 参加人数85人 ○釜の淵新緑祭おはなし会 5月15日 参加人数 43人 ○大人も楽しむおはなし会 6月18日、12月3日 参加人数 91人 ○春の午後には図書館へ～手話で楽しむおはなしと映画～3月4日 参加人数 78人 ○読み聞かせ講習会 7月25日 参加人数 12人 ○修理講習会 9月27日、28日 参加人数 24人 ○ハーブコンサート 4月3日 参加人数 57人 ○図書館こいのぼり 4月20日～5月29日 参加人数 48人 ○図書館で落語を愉しむ～入船亭扇治独演会～ 10月29日 参加人数 123人 ○利用者懇談会 3月24日 参加人数 4人	○	1年を通じて定期的に展示や講座等を開催し、多くの参加者を得ることができた。今後も各事業の開催回数や内容の充実を図ることが課題である。
	中央図書館管理課	67 工作及び手芸教室	工作などを通じて手作りの楽しさ、創造することのおもしろさを体験する各種教室を実施します。	・工作教室「オリジナルシューズをつくろう！」8月2日、23日 参加者 30組 ・へんしんおえかき工作教室(図書館ワンダーランド) 3月20日 参加者 18組	○	工作教室を3回開催し、48組の参加者があった。今後も開催回数や内容の充実を図ることが課題である。
	中央図書館管理課	68 上映会	中央図書館多目的室において、映画会を行います。	・映画会 6月19日～3月26日 11回 参加人数 554人 ・バリアフリー上映会 11月27日 参加人数 50人	○	映画会を12回開催し、604人の参加者があった。今後も開催回数や内容の充実を図ることが課題である。
	選挙管理委員会	69 明るい選挙推進講演会	明るい選挙を推進していく観点から、明るい選挙推進委員および一般市民を対象に、講演会を開催します。	以下のとおり、明るい選挙推進委員を対象に、管外研修会において講演を実施した。 実施日:12月6日 演題:「選挙制度「アダムズ方式」って何？」他 講師:青梅市話しあい指導員 坂口芳文 参加人数:45人	○	衆議院議員選挙の1票の格差と関連する演題であったため、参加者には興味深かったようで好評であった。また、選挙に関するクイズなども織り交ぜ、明るい選挙推進委員が選挙に関する知識を習得する機会として有効であったと考えられる。今回は明るい選挙推進委員を対象としたものであったが、次回は一般市民も参加できる形式での開催を予定している。
	農業委員会	70 親子農業体験会	田植え・稲刈りといった農作業を体験していただき、市民と市内農業とのふれあいを図ります。	田植え 雨天のため中止。(実施予定日 6月11日 参加予定人数40人(18家族)) 稲刈り 実施日 10月15日 参加人数35人(14家族) 圃場所在地 藤橋2丁目 講師 農業委員会経営部会	○	農業体験により農業への関心や理解を深めてもらうことができた。 28年度は応募数が多かったものの、渇水のため田植え体験が中止となってしまった。時期を遅らせるなど渇水への対策を図りたい。
	吹上中学校	71 本物にふれる会	子どもたちに本物の文化・芸能・スポーツにふれることを目的に、鑑賞教室や講演会を毎年実施します。保護者および近隣の自治会・地域住民にも参加を呼びかけます。毎年10月実施	古賀稔彦の講演会「夢の実現に向けて」実施 実施日10月15日 参加人数 生徒180人、保護者・地域住民等 150人 合計 330人	○	PTAの企画・運営のもとに、元オリンピック選手の講演会・実技披露を実施した。生徒だけではなく、地域住民や保護者にも参加を促し例年以上の参加があった。
	青梅市青少年委員協議会	72 ますつりにチャレンジ	青梅の自然を生かし、川でますを釣ってさばき、食べるまでを、体験してもらいます。	「ます釣りにチャレンジ！2016」実施 実施日 5月8日 会場 成木市民センターほか 参加人数 39人	○	小中学生を対象にます釣り体験を実施した。
	青梅市青少年委員協議会	73 集まれおうめっ子	竹・炭火・森など毎年テーマを変え、子ども達が自然に触れる機会を提供します。	「集まれおうめっ子！林の巻」 実施予定日 11月20日 会場 永山ふれあいセンター 参加人数 37人	○	小中学生を対象に基地づくりと火おこし体験を実施した。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(3) 共に生きるための学習機会の充実	秘書広報課	74 平和の写真展の開催	世界の恒久平和を希求することをテーマとした写真展を開催し、市民が平和について考える機会とします。	・安田菜津紀写真展「～シリア難民の子どもたち～」 実施日 12月10日～25日まで 会場 青梅市立美術館市民ギャラリー 入場者数 530人 ・安田菜津紀平和講演会「～中東・東南アジア・東日本大震災～」 実施日 12月18日 会場 市役所2階会議室 参加者数 203人	○	世界の恒久平和の実現を願い、また、平和の尊さを再認識するため、現在、カンボジアや東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で、貧困や災害の取材を行っている安田菜津紀氏の写真展および講演会を実施し、多くの市民等に対し広く周知することが出来た。
	秘書広報課	75 国際交流活動支援	国際交流団体の国際交流事業に対する補助(国際交流基金)等の支援を行い、活動の活性化を目指します。	市内の国際交流団体に対して補助金を交付した。 ・語学研修事業 2団体 ・文化交流事業 1団体 ・その他の事業 1団体	○	ドイツ語、中国語の語学研修に加え、市内在住外国人の交流の場として実施している国際交流の広場へ補助を行い、市民の国際交流の推進の一助となっている。 また、青梅市民合唱団のボツパルト公演に対して補助を行い、市民交流の進展が図られた。
	秘書広報課	76 通訳ボランティア	青梅マラソン大会参加外国人選手の通訳を、ボランティアの協力を得て、国際的な交流の輪が広がるよう支援します。	2月18日、19日の2日間、青梅マラソンの外国人選手に対し、通訳語学ボランティアの協力を得て支援した。 ・独語ボランティア 5人 ・中国語ボランティア 6人 ・英語ボランティア 4人	○	青梅マラソン大会には、毎回、多くの外国人ランナーが参加している。 英語ボランティアは、主に受付で通訳業務を行った。 独語ボランティアは姉妹都市ボツパルト市からの市民ランナーに、また、中国語ボランティアは北京市からの市民ランナーに帯同し、前日のコース下見から大会当日までのサポートを行った。 ボツパルト市民、北京市民とスポーツを通じた交流が深まった。
	企画政策課	77 男女平等講座の開催	男女平等参画の視点に立った講座を実施します。	男女平等参画の意識啓発のため、各種の啓発講座を開催するとともに、「市民のくらし展」や市役所・市民センター等でパネル展を実施し、啓発を図った。	○	啓発講座については、前年度の実施状況を踏まえて内容の充実を図った。中学生(3年生)を対象としたデートDV講座については、昨年度より1校増の3校で実施した。
	企画政策課	78 女性の就業支援	働く女性の能力開発および就業意欲向上のための講座を開催し、情報提供を行います。	ハローワーク青梅および商工観光課と共催で、これから働こうとする女性を対象とした「女性の再就職支援パソコン講座(ワード・エクセルの基本操作やメール文章作成等)」を開催した。 また、商工観光課と共催で、働く女性を対象とした「働く女性のスキルアップパソコン講座(エクセル関数)」を開催した。	○	講座について、前年度の実施状況を踏まえて内容の充実を図り実施した。
	市民センター	79 老壮大学	教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために各種講演会・講習会を行います。青梅老壮大学、調布ことぶき大学、霞老壮大学、梅郷老壮学園、小曾木老壮大学、東青梅老壮大学、河辺老壮大学	(青梅老壮大学) ・教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために各種講座、学芸祭、研修視察(年2回)をおこなった。(青梅C) (調布ことぶき大学) ・講演会、芸能大会、日帰り研修等の行事を年11回開催した(長淵C) (霞老壮大学) ・講演会(6回)、日帰り見学会(1回)、一泊二日修学旅行(1回)を開催した。入学式・卒業式(各1回)を行った。毎月1回コーラスサークル(会員数90名)の活動を支援し新年祝賀会や記念式典で成果を発表し好評を博している。四季折々の題材をもとに冠句会(2回)を開催し、11月のセンター文化展に出品した。(大門C) (梅郷地区老壮学園) ・講演会(1回)、日帰り研修旅行を実施した。また、梅郷地区総合文化祭への出品、梅郷地区高齢者クラブ連合会の芸能大会へ参加した。(梅郷C) (小曾木老壮大学) ・講座、講演会、日帰り研修等の行事を年11回開催した。(小曾木C) (東青梅老壮大学) ・教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために講演会・研修旅行等の事業を13回延べ610人の参加を得た。東青梅老壮大学創立35周年を記念した公開講座として市民会館において地元ピアニストによるコンサートを行った。(東青梅C) (河辺老壮大学) ・教育の向上と心身の健康増進のために各種講座、講演会等を12回開催し、延べ677人の参加を得た。(河辺C)	○	老壮大学の運営にも学生自ら参加することにより自主性がめばえ、また多方面にわたる講座を計画実施することにより、教養の向上や生きがいづくりに貢献しているため。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(3) 共に生きるための学習機会の充実	福祉総務課	80 社会を明るくする運動	人々が互いに助け合い、希望を持って生きることができる明るい社会を目指して、座談会やチラシの配布など啓発事業を行います。	青梅市推進委員会を開催し、年度内の取り組み内容を決定した。 おうめ健康まつりでティッシュと絆創膏の配布を行い、運動のPRを実施。強調月間の7月1日、市役所に集まり推進委員長のおいさつでの、保護司や地域の中学生による啓発活動を、JR青梅線の河辺駅、東青梅駅、青梅駅で実施。 また、各地域で保護司や青少年対策委員等の協力を得て、市内の市民センター等でミニ集会や座談会を開催し、啓発活動を実施した。市民プールや図書館においてもPR活動を実施した。	○	法務省主催の全国で実施されている行事で、青梅市においても、教育委員会、西多摩地区保護司会青梅分会、青梅警察署、青梅防犯協会、青梅市社会福祉協議会、自治会連合会、教育関係機関など23団体で推進委員会を組織し、7月以降様々なイベントを行って、啓発活動を行うことができた。 特に、駅頭でのPR活動や、市民センター等でのミニ集会で多くの市民に事業の内容を周知できた。
	高齢介護課	81 家庭介護DVDの貸出し	在宅の介護者やボランティアの方々の活動を支援するために、介護等のDVDを無料でお貸しします。	家庭介護のためのDVD等の貸し出しを行った。 利用者数 0人 利用本数 0本	△	利用者がいなかったため。
	高齢介護課	82 認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する、認知症サポーターを養成するための講師を派遣します。また、認知症サポーターに対し、ステップアップ講座を行います。	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らしていることができる地域づくりを推進した。 平成28年度講座受講認知症サポーター数 合計421人	○	引き続き、サポーターを増やし、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指す。
	高齢介護課	83 高齢者クラブ健康づくりモデル事業	ウォーキング等を取り入れた健康づくりモデル事業を実施し、地域の高齢者の健康づくり活動への参加と、自発的な介護予防に資する組織の育成・支援を行います。	実施期間9月～11月 ウォーキング教室およびウォーキング実施前後の体力測定を実施。 ・東青梅さくら会 20人(述べ人数32人) ・駒木町長寿会 23人(述べ人数38人) ・嘉志和会 33人(述べ人数65人) (全76人/述べ人数135人)	○	各高齢者クラブにて、継続したウォーキングが実践でき、健康づくりの大切さを再認識していただいた。
	高齢介護課	84 家族介護教室	高齢者を介護している家族等を対象として、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等の知識・技術を修得する教室を開催します。	高齢者を介護している家族等に対して、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術を習得する機会を提供することにより、その身体的、精神的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者等の在宅生活の継続、向上を図った。 「アロマテラピーを使ったリラクゼーションと認知症予防」ほか延べ参加人数93人	○	介護教室は要介護者が可能な限り在宅生活を送るうえで必要である。介護者や援助者が知識や技術を習得することで、心身の負担軽減にも役立っている。
	障がい者福祉課	85 手話講習会事業	福祉に対する関心を高め、地域福祉を推進するため、手話の初・中・上級講習会を開催します。 初・中級講習会は、障害者団体等と協働で実施します。	青梅市聴覚者協会との協働事業によって、入門・初級手話講習会を実施した。また、平成29年度については、初級修了者を対象に、中級手話講習会を、青梅市聴覚者協会との協働事業によって実施予定。平成30年度には、上級手話講習会を青梅市社会福祉協議会に委託実施予定。	○	入門・初級とも、39名の受講者があり、おおむね順調であると判断した。
	障がい者福祉課	86 点字図書給付事業	視覚障がい者の方に、点字図書を給付し、その活動を支援します。	視覚障がい者の方に、点字図書を給付し、その活動を支援した。 利用登録者2人 実利用者2人	○	視覚障がい者への支援のひとつとして利用登録者2人利用者2人ではあるが、点字による情報収集のための効果的な事業である。
	障がい者福祉課	87 身体障がい者自動車運転教習事業	身体障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行います。	身体障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行った。 利用者5人	○	身体障がい者の社会参加の拡大に効果的な事業であるため、利用者5人ではあるが、おおむね順調であると判断した。
	障がい者福祉課	88 相談支援事業	市の窓口で、障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うことで社会生活の自立に向けた支援をします。	設置場所 市役所障がい者福祉課、青梅市障がい者サポートセンター、青梅市障害者就労支援センターで実施。 ・市役所障がい者福祉課 実利用人数 1,103件 ・障がい者サポートセンター 延べ相談件数 6,043件 ・障害者就労支援センター 4,883件	○	市の窓口等で、障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行い支援ができた。
障がい者福祉課	89 意思疎通支援事業	意思の疎通が困難な重度聴覚障がい者の方に対して、公共団体等が主催する行事などに手話通訳者・要約筆記者を派遣します。	意思の疎通が困難な重度聴覚障がい者の方に対して、公共団体等が主催する成人式、講演会などに手話通訳者・要約筆記者を派遣した。 障がい者福祉課派遣 4件 教育委員会派遣 1件(成人式)	○	障害者差別解消法の施行に伴い、合理的配慮のひとつとして重要な事業と認識している。障がい者福祉課の派遣ではなく、担当課において、手話通訳者の手配をしている事業もあり、	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(3) 共に生きるための学習機会の充実	障がい者福祉課	90 青梅市障がい者サポートセンター事業	障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や支援を行い、障がいのある方の創作活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等を行います。また、障がいのある方やその家族、障がい者団体等が活動する場を提供し、障がいのある方の自立の促進を図ります。	条例・規則に定めた支援を実施した。 ・相談支援 延べ相談件数 6,043件 ・創作活動や生産活動 延べ参加人数 4,570人 ・施設貸出し 延べ利用人数 5,084人 ・生活支援(パソコン指導・療育指導) 延べ人数 272人	○	相談支援件数が減少しているが、これは、障害福祉サービスのサービス等利用計画の作成の影響と考えるが、本事業は、障害のある方やその家族等への支援を行い、障害者の自立の促進が図られている。
	障がい者福祉課	91 中等度難聴児発達支援事業	身体障がい者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援します。	身体障がい者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援した。 利用件数0件	△	本事業は、平成25年度からの新規事業で、手帳の交付対象とならない難聴児に対する支援で平成28年度0件であったが、手帳取得に至らない中等度難聴児の発達支援を行うには効果的な支援制度と判断している。
	社会教育課	92 国際理解講座	1 世界に広がる教室 次代を担う青少年(小学4年生～高校生)のために、国際的な視野と教養が身につくよう支援します。(英会話と文化講座) 2 外国人日本語講座 日本に来て間もない外国人の日本語理解の手助けをします。(正しい日本語の学習「音声・文字・助詞」)日本語が話せない方には、日本語学習グループを紹介します。	・小学生講座 実施日 5月21日～3月4日(全20回) 内容 英会話講座、文化講座 参加人数 小学校4年生45人、小学校5年生44人、小学校6年生27人 計116人 ・中学・高校生講座 実施日 5月21日～3月4日(全20回) 内容 英会話講座、文化講座 参加人数 中学1年生3人、中学2年生8人、中学3年生6人、高校1年生1人 計18人 ・外国人日本語講座 実施日 5月18日～11月19日(全18回) 内容 正しい日本語の学習、音声、文字、助詞 参加人数 23人	○	合計で134名の世界に広がる教室の参加者を迎えて講座を実施した。市内の小中学校全校に広報を行い、定員を超える応募および参加があった。 外国人日本語講座については、参加人数が芳しくない現状があるので、増加するよう周知方法を改善していく。
	社会教育課	93 ともに生きるための教室・講座の企画運営	地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。 高齢者の生きがい、男女平等、人権平等・国際理解、障がい者の学びの場を実現し、地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。	・「わたしらしく！仕事も家庭も女子力UP講座(30人) ・わたしらしく！女性のための未来力UP講座(25人) ・国際理解講座公開講座(550人) 青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 ・英語で楽しむカップケーキデコレーション(23人) ・英語で楽しむ男の料理教室第2弾(16人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 5講座 644人	○	多文化理解や男女平等、趣味を通じたコミュニティ形成などを目的に5講座を実施した。
社会教育課	94 生涯学習まちづくり出前講座	市の施策や事業等をテーマに、市職員等が市民のところへ出向いてお話しする出前講座を実施し、市民が自分達のまちについて学ぶ生涯学習の機会を提供します。	講座名「青梅の姉妹都市～ポツパルトについて～」 以下93講座 22部署(健康課以下19課・青梅消防署・青梅警察署、東京都行政書士会多摩西部支部) 延べ受講者数 3,816人	○	各課、各部署の協力により、幅広いテーマで93講座開催した。	
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	スポーツ推進課	95 各種体操教室	市民の健康・体力づくりを目的とした各種体操教室を総合体育館および健康センターで実施します。幼児、小学生、親子、勤労者、女性、中高齢者など、対象別の各種教室を企画・開催し、参加者にとって魅力のある教室の運営を図ります。	【当日参加制教室】 教室名：ホップステップ体操、はつらつ体操、シェイプアップ体操、のびのび体操、男性のヘルシー体操、リフレッシュ体操、フレッシュアップ体操 会場：第2スポーツホール 延べ参加者人数：15,026人(348回開催) 【登録制教室】 教室名：ベビーコンタクト、チャイルドコンタクト、レディースフットサル、ボディーバランスストレッチ、ソフトエアロビクス、Jrフットサル(年中年長)、Jrフットサル(1～2年生)、Figure8、骨盤エクササイズ(木曜)、ヨガ(リラックス)、ヨガ(代謝アップ)、ジャイロキネシス(チェア)、ジャイロキネシス(フロア)、かんたんエアロビクス、ZUMBA、KID'SHIPHOP、骨盤エクササイズ(土曜)、英会話(シニア)、英会話(年中)、英会話(年長)、アーティフィシャルフラワー 会場：第2スポーツホール、第1会議室、第5会議室、幼児室 延べ参加者数：3,131人(575回開催)	○	平成28年度より、指定管理者の事業として実施。教室を2コース制に分けて開催した。当日参加制教室は、通年、実施することで健康維持・増進の場として活用していただくことが出来た。また、登録制教室については、少人数での実施であるため、個々の運動レベルに合わせた教室プログラムを提供することが出来た。これまでに以上に幅広い年代を対象に、多種多様な教室プログラムを開催したことで、より多くの参加者のニーズに応えることが出来た。
	スポーツ推進課	96 青梅マラソン大会	スポーツを通じてボランティアをする機会を提供します。 全国の市民ランナーと国内外の招待選手が青梅に集い、マラソンを通して選手と市民がスポーツ・文化交流を深めます。 30キロの部、10キロの部	実施日 2月19日 参加人数 16,604人 30キロの部 13,177人 10キロの部 3,427人 ジュニアロードレース 658人	○	第51回目の大会として、多くの参加者を迎え開催した。 参加枠について、横田基地枠を創設し、マラソンを通じた幅広い交流のきっかけとなった。 また、10キロの部会場ステージを市民の発表の場とするなどスポーツイベントを活用し、発表の機会を提供した。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	スポーツ推進課	97 有酸素運動普及事業	気軽にできるウォーキングやノルディックウォーキング等の有酸素運動の教室を、ウォーキングモデルコース等を利用して開催し、市民の体力・健康の維持増進に寄与します。	姿勢専門のプロが教える～健康歩き方教室～ 参加人数 14人 ウォーキングフェスタ 参加人数 177人 護美拾い合戦～青梅御岳の陣～ 参加人数 32人	○	効果的なウォーキングが行えるように歩く姿勢についての講習を行った。 また、清掃リサイクル課と協力し、美化活動とスポーツを融合させた新たなゴミ拾いイベントを考案し、既存のウォーキングマップを実施エリアとして活用し、有酸素運動の普及に努めた。
	スポーツ推進課	98 スポーツ・レクリエーションフェスティバル	スポーツ・レクリエーション活動を全市的な規模で実践する場を提供することにより、市民一人一人の活動への参加意欲を喚起し、生涯スポーツを振興します。	実施日 10月10日(体育の日) 会場 総合体育館ほか体育施設 参加人数 3,080人	○	青梅市体育協会加盟団体が多様な種目を実施することで、参加者が増加してきている。 また、平成28年度より施設管理を行う指定管理者とも協力し、体力測定の実施内容の見直しを行うなど、ニーズに合わせた事業の実施に努めている。
	スポーツ推進課	99 市民体育大会	市民の体力づくりと技術の向上を図ることを目的として、青梅市体育協会に委託し、各種大会を実施します。	種目 29種目 参加人数 8,116人	○	広く市民に開かれた大会として実施している。 だれでも参加が出来る大会を開催することで、市民体育大会への参加を目標とし、スポーツに取り組む機会を提供している。
	スポーツ推進課	100 奥多摩溪谷駅伝競走大会	箱根駅伝に次ぐ伝統を誇る大会で、200チーム以上が冬の奥多摩路を疾走します。 一般・大学・高校の部・・・44.8キロ(6区間) 女子の部・・・11.1キロ(3区間)	実施日 12月4日 参加チーム数 219チーム	○	市内の中学生女子の選抜チームのみであった中学生の参加について、女子の部の参加条件を見直し、中学生以上のチームならば参加可能とした。
	スポーツ推進課	101 屋内温水プール開放事業	市内にある民間温水プールを借り上げ、年間を通じた市民の健康、体力づくりの場として提供します。	実施日 毎週日曜日 48回開放 利用人数 大人1,016人 小人525人 合計 1,541人	○	昨年を超える利用者があり、年間を通じた健康、体力づくりの場として機能している。
	高齢介護課	102 介護予防講演会	介護予防に関する基本的な知識の普及啓発のため講演会を開催します。	実施2回/年、一般市民を対象に開催。 6/30「これがポイント! 認知症予防と高齢者のうつ病について」77人 講師:東京海道病院 日比慎太郎医師 会場:福祉センター 集会室 10/24「口腔ケアからはじめる介護予防!」59人 講師:布田歯科医院 布田博歯科医師 会場:市役所会議室	○	2回共に、アンケート結果ではおおむね好評だったため。
	高齢介護課	103 自主グループ育成支援	高齢者が身近な地域で元気に自立した生活を続けるために、自主的に介護予防を目的とした運動などを行うグループ活動やそれを担うグループリーダーの育成を支援します。	・「介護予防リーダー養成講座」 養成講座 全12回19人(述べ人数195人) フォローアップ講座 全3回16人(述べ人数43人) 委託事業者:医療法人社団 和風会 平成28年度末時点で市内14カ所で自主グループ活動中。 ・「高齢者による絵本読み聞かせボランティア養成講座」 養成講座 11人(述べ人数65人) フォローアップ講座 10人(述べ人数50人、平成27年度同講座受講者を含む) 講師:JPIC読書アドバイザー 吉田 佳子氏	○	介護予防リーダー養成講座では、講座終了前から、自主活動を始めたいと言った声も上がり、参加者同士でスムーズに自主活動へ向けての意識の高さを感じられた。また、講習内容の充実も図れたため。 運動だけではなく、介護予防につながる生きがいづくりとして、絵本読み聞かせボランティア養成講座を実施し、活動希望の修了者に対しては小学校のタヤケランドでの活動につながることができた。
	高齢介護課	104	健康づくりや閉じこもり予防を目的とし、健康チェックや軽体操、ミニ健康講座等集団での健康づくりを行います。	「歩き方講座」 午前午後入れ替え制で2回/年実施 84人(述べ人数362人) 講師:いきる姿勢インストラクター加藤 直司氏 場所:高齢者センター	○	終了時には片足立ちの保持時間の維持・延長の結果が出ていることや、受講者へのアンケートの結果では正しい姿勢や歩き方の意識が高まったなどの結果があり、おおむね好評であった。
	健康課	105	機能訓練	体力づくり教室は該当者なし。	△	平成27年度に実施したプレ体力づくり教室は、さらに体力のある方向けの教室として、機能的な訓練ではなく健康づくり全般における健康教育を行うことを目的とし、健康教育へ移行し実施した。
	健康課	106 おうめ健康まつり	医師による健康相談、健康チェック、歯科相談、展示、体験等のコーナーや健康講演など、市民一人一人が楽しく家族ぐるみで健康づくりを学べる催しです。	第47回おうめ健康まつり(旧市民健康の集い)を開催した。 青梅市三師会と市の共催で「家族ぐるみの健康づくり」をテーマに、三師会等による各種相談、市民参加型の各種コーナーの実施、青梅市三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)による講演会を実施した。 ・実施日:6月5日午前10時から午後3時30分 ・会場:青梅市役所(正面玄関、1階ロビー、2階会議室等) ・参加人数:延べ5,981人(5,867人)	○	各コーナーについては、昨年度参加者アンケートを踏まえ共催者である青梅市三師会等と実施内容の協議を行い、三師会等による各種相談、がん検診PRやヘルスチェック、健康歩き方、転倒予防教室、梅っこ体操教室等市民参加型の各種コーナーの開設や青梅市三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)による健康に関する講演会を実施し、健康づくり普及啓発の機会として健康に関する正しい知識や情報提供を行うことができた。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由	
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	健康課	107	健康教育	生活習慣病の予防等に関する教室を開催し、健康づくりや疾病の予防など市民の健康についての学びの機会とします。	生活習慣病の予防や健康づくり等に関する各種講座を開催した。 ・開催場所:健康センター、市役所など ・参加者数:5,333名(延べ人数)	○	平成28年度は機能的な訓練ではなく、その前段階の方を対象としたロコモティブシンドローム予防教室を新規事業として実施するなど、事業の拡大と充実を図った。
	健康課	108	健康相談	日ごろ、健康について気になることなどを相談できる機会として、健康センター、沢井保健福祉センター、小曾木保健福祉センター、小曾木保健福祉センターで実施します。	健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言および支援を行なった。 ・開催場所:健康センター、沢井保健福祉センター、小曾木保健福祉センター、中央図書館、市役所ロビー ・相談者数:1,757名(延べ人数)	○	血圧測定や相談の実施により、健康に関心がないと思われるものや高血圧等の未治療者に対し、正しい知識や情報を提供することができた。
	総合病院管理課	109	おうめ健康塾	当院の医師・看護師等が講師となり、疾病の原因、治療、予防等について話し、質問にもお答えします。年間6回程度開催します。	下記のとおり、青梅市立総合病院講堂において、おうめ健康塾を11回開催した。 ・4月23日 題名:認知症の予防とつきあい方 講師:認知看護認定看護師 前田 尚子 参加者:99人 ・5月21日 題名:腰痛を予防しよう!～知識と運動～ 講師:リハビリテーション科科長 堀家 春樹 参加者:35人(定員50人) ・6月18日 題名:糖尿病の食事療法～その理解と予防～ 講師:栄養科科長 寺本 礼子 参加者:34人 ・7月9日 題名:がんの痛みについて～伝えてください がんの痛み 看護師の立場から～ 講師:がん性疼痛看護認定看護師 角山 加津美 参加者:28人 ・9月3日 題名:慢性腎臓病(CKD)について 講師:腎臓内科部長 木本 成昭 参加者:58人 ・10月15日 題名:子どもの病院のかかり方 講師:小児科医長 安藤 和秀 参加者:11人 ・11月5日 題名:市立総合病院の現状と課題～建て替えの必要性と今後の方向性～ 講師:院長 原 義人 参加者:35人 ・12月17日 題名:前立腺肥大の話～おしっこがでにくくなったら～ 講師:泌尿器科部長 村田 高史 参加者:62人 ・1月21日 題名:くすりの正しい飲み方と使い方 講師:薬剤科科長 川鍋 直樹 参加者:41人 ・2月18日 題名:西多摩地域における神経内科診療～神経内科とは?～ 講師:神経内科部長 田尾 修 参加者:55人 ・3月18日 題名:生活習慣病を予防しよう 講師:糖尿病看護認定看護師 前原 亜子 参加者:28人	○	病気を正しく理解していただくことや病院の取組等を発信すること、また、医師や看護師等が講師となることから、より病院を身近に感じていただくことができた。 このような機会を通じて地域に開かれた病院であることを理解いただくとともに、健康意識の高揚につなげることができた。
	スポーツ推進課	110	健やかに生きるための教室・講座の企画運営	市民が健康な生活を送れるよう支援する教室・講座を開催します。 1 短期スポーツ 気軽に楽しく誰にでもできるスポーツ教室を開催します。(青梅マラソンの走り方教室、少林寺拳法教室、ピラティス教室、ニュースポーツ教室等) 2 長期スポーツ教室 青少年の心身の健全育成を目的とした剣道・柔道教室を、年間を通して開催します。 3 ジュニアスポーツ教室 小学生のスポーツへの関心をより高め、各種スポーツの紹介、体験を通して自身の適性を知り、興味や親しみを持ってもらうことを目的として開催します。 4 アダプテッド・スポーツ教室(障がい者スポーツ教室)開催し、スポーツに親しむとともに障がいのある方とない方の交流を図ります。 5 各種健康関係教室 熱中症予防講座、スポーツ外傷と応急処置教室や介護予防教室などスポーツ活動中だけでなく日常生活でも役立つ教室を開催します。	・短期スポーツ教室 4教室、13回(217人) ・アダプテッド・スポーツ教室(旧障がい者スポーツ教室)、2回(56人) ・長期スポーツ教室 柔道教室 延べ240教室(3,073人) 剣道教室 延べ464教室(6,641人) ・ジュニアスポーツ教室(各教室計4回ずつ実施) バスケットボール教室(324人) バドミントン教室(153人) 水泳教室(137人) ビーチボール教室(175人) テニス教室(154人) 新体操教室(267人) バレーボール教室(173人) 卓球教室(191人) ソフトテニス教室(234人) ・元気に♪楽しく♪梅っこ体操(198人) ※括弧内の人数は延べ参加人数	○	補助金を利用し、高齢介護課で制作された市オリジナルの介護予防体操を軽体操として捉え、普及を図った。 また、地域スポーツ文化交流クラブとの共催事業として、子どもの応急処置に関する講座を開催した。
	高齢介護課	111	健康課	熱中症予防講座については、単独の開催は実施していないが、健康課主催の各種健康講座の中で学ぶ場を設け、健康相談の中でも個別に正しい知識の提供をした。	青梅市介護予防オリジナル体操「梅っこ体操」の普及啓発を実施。 市民への出前講座15件 各種イベント10件 その他の保育園、市民向け講演会、介護予防教室など26件体操パンフレットを作成し、市民への配布を行った。	○	一般市民や各種団体からの問い合わせ・依頼も多く、各種イベント、講座などで「梅っこ体操」を披露し、普及に取り組んだ。次年度も引き続き、普及啓発に取り組む
	健康課	112	社会教育課	熱中症予防講座については、単独の開催は実施していないが、健康課主催の各種健康講座の中で学ぶ場を設け、健康相談の中でも個別に正しい知識の提供をした。	・ピラティス～呼吸法と共に体幹を鍛える～(143人) 青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 3講座 ・作業療法学生によるいきいき健康講座(123人) ・からだの適応能力UP講座ピラティス(113人) ・からだの適応能力UP講座Let'sムーブメント(56人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 合計 4講座 435人	○	熱中症予防については、各講座や相談の中で学ぶ場に加え、おうめ広報、リーフレットによる周知を行い、予防の普及啓発に努めた。 なお、単独での講座の開催については検討する。
	社会教育課	113				○	市民会議の企画講座を中心に老化予防や健康に関係する運動講座を実施した。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	秘書広報課	114 広聴活動	市政に関する要望、意見、提案等を寄せていただき、市民参画によるまちづくりを進めるために役立っています。	市長への手紙を市内の公共施設を中心に設置するとともに、要望書についても、随時受付を行った。 ・市長への手紙 180件 ・要望書 126件	○	市政に関する要望、意見等に対し、なるべく迅速に回答するよう努力している。 いただいた要望等は、今後の市政運営に役立っている。
	市民安全課	115 交通公園日曜映画教室	楽しみながら交通安全の知識が得られるように、幼児から親子を対象に交通安全の講話と映画上映を毎週日曜日に実施します。	参加人数:692人	○	毎週日曜日に、交通安全啓発ビデオを上映し、楽しみながら交通ルール、マナーについて、啓発することができたため。
	市民安全課	116 交通公園交通安全教室	楽しみながら安全な歩行や自転車利用法、交通マナーが習得できるように、保育園児や幼稚園児、小学生、高齢者を対象に交通公園で随時実施します。	参加人数内訳 小学生:1,562人 高齢者:95人 幼稚園、保育園児:1,265人 その他団体:348人	○	青梅警察署を始めとする各種関係団体と協力し、市内の小学校3年生を対象とした自転車運転免許証交付事業を実施するとともに、幼稚園、保育園、希望校(3年生以外)を対象とした交通安全教室も随時実施し、交通ルール、マナーの啓発に努めた。 また、高齢者を始めとする大人を対象とした交通安全教室についても開催し、老若男女を問わず、交通安全意識の高揚を図ることができたため。
	市民安全課	117 交通安全講習会	青梅警察署および青梅交通安全協会と連携し、一般市民を対象に市内12か所の会場で、交通安全講話と交通事故防止を目的とした映画上映を行い、交通安全意識の高揚と事故防止を図ります。春・秋の交通安全運動に先がけて、各12日間実施します。	秋の交通安全講習会 8月27日～9月9日(8月28日、9月4日除く)12日間 参加人数:312人 春の交通安全講習会 3月6日～3月25日(3月12日、18日～24日除く)12日間 参加人数:268人 合計 参加人数:580人	○	一般市民を対象に春・秋の交通安全運動に先駆けて、市内12か所の会場で、交通安全に関する講話と交通事故防止を目的とした映画上映を行い、交通安全意識の高揚を図った。
	市民安全課	118 セーフティ教室(交通事故再現方式)	交通事故再現方式による自転車安全教育を中学校において行い、交通安全意識の高揚と事故防止を図ります。	第三中学校(5月2日) 参加生徒数:559人 第二中学校(5月13日) 参加生徒数:501人 西中学校(11月25日) 参加生徒数:306人 合計:1,366人	○	交通事故の衝撃や怖さを実感することにより、交通安全意識の高揚、自転車走行ルール・マナーの向上を図ることができた。
	市民安全課	119 専門相談事業	専門相談員による各種専門相談(法律相談・人権身の上相談・行政相談・交通事故相談・登記相談)を実施します。	・法律相談 (相談内容) 土地家屋の賃貸借、相続、離婚、債権債務、損害賠償など (相談回数) 80回 (相談件数) 513件 (相談員) 弁護士 ・交通事故相談 (相談内容) 交通事故による損害賠償問題、示談および保険手続きなど (相談回数) 24回 (相談件数) 50件 (相談員) 弁護士 ・登記相談 (相談内容) 土地・家屋の不動産や法人登記および境界に関すること (相談回数) 12回 (相談件数) 64件 (相談員) 司法書士、土地家屋調査士 ・身の上相談 (相談内容) 家庭や身の上の悩み事、職場の差別やプライバシー侵害など (相談回数) 16回 (相談件数) 34件 (相談員) 人権擁護委員 ・行政相談 (相談内容) 国の行政機関や政令で定める法人の業務に対する苦情や要望など (相談回数) 14回 (相談件数) 4件 (相談員) 行政相談委員 ・相続遺言等暮らしの手続き相談 (相談内容) 相続に関する遺産分割協議書、遺言書等の書き方や手続きに関すること (相談回数) 12回 (相談件数) 61件 (相談員) 行政書士	○	専門相談員による各種専門相談を実施する事ができた。
	市民安全課	120 パネル展等	消費者意識の高揚と被害防止を図るため、パネル展示やパンフレットの配布を行い、知識を広げます。22か所	市役所エントランスロビー、市民センター玄関ホール、高等学校、専門学校等において、悪質商法の手口等を紹介したパネル展示を延べ21回実施したほか、啓発冊子の配布を西東京農業協同組合の本支店9か所に依頼した。	○	高等学校、専門学校や企業等の協力により、市内各所でパネル展示等を行えたことにより、悪質商法をはじめとする消費者トラブルの事例と対処法についての啓発を広く行うことができた。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	市民安全課	121 消費者相談	契約上のトラブル、欠陥商品による被害を受けた場合などの相談を受けることで、市民に消費生活上の知識を広げていただけます。週5日(開庁日全日)	消費者相談は、週5日(開庁日全日)実施し、毎月第2・第4火曜日については、午後6時まで相談時間を延長した。	○	消費者相談は、消費生活相談員が1~2人の体制で電話および来庁での相談に対応することができた。
	市民安全課	122 消費者研修会・セミナー	市民を対象として、日常の生活に役立つ身近なテーマを取り上げ、開催します。年20講座	生活知識に関して24講座、環境・資源に関して2講座、食に関して8講座、計34講座開催した。	○	高齢者を対象とした悪質商法防止啓発をはじめ、生活の中で身近な題材等の講座を行ったが、小学生から高齢者まで幅広い年齢層から参加があり、啓発ができた。希望する講座内容の講師を見つけるのが難しい。
	市民安全課	123 市民のくらし展	市民生活の安定とコミュニティの大切さを啓発するため実施します。年1回・参加3団体	11月4日・5日の2日間開催した。 参加団体2団体、延べ来場者数 14,900人 市内の2つの高等学校の生徒がボランティア参加した。	○	青梅産業観光まつりに併設して行ったため、多くの来場者にリサイクルや食品ロス等のくらしに関する情報を発信できた。また、市内にある高校の生徒がボランティアで参加したが、洗濯表示変更や悪質商法被害防止についての啓発を通して消費者問題について学んでもらうことができた。
	環境政策課	124 親水事業の拡充	市民団体等と協働で、事業体験型や学習型の親水事業を充実します。	①がんばれ！あゆっ子2016「稚鮎の放流と生態系調査」(NPO法人奥多摩川友愛会)(子ども48人、保護者36人) ②じゃぶじゃぶ川であそんじゃおー！霞川子どもの水辺登録10年記念(霞川くらしの楽校)(子ども42人、保護者24人) ③ガサガサ水辺の探検隊～達人と一緒に楽しく安全な川遊び教室～(青梅・多摩川水辺のフォーラム)(子ども128人、保護者86人) ④やってみようか昔懐かしい子供の釣り体験教室(NPO法人奥多摩川友愛会)(子ども20人、保護者13人) ⑤かすみ川であそぼ！いかだあそび in 霞川Part8(霞川くらしの楽校)(子ども23人、保護者20人) ⑥第8回炭焼き体験と水辺の交流会(美しい多摩川フォーラム)(中止) ⑦多摩川まるごと遊び塾 ～水辺はぼくらのワンダーランド～(青梅・多摩川水辺のフォーラム)(子ども95人、保護者64人) ⑧霞川で遊ぼう 僕も私も釣り名人・お魚釣りに挑戦しよう(霞川くらしの楽校)(子ども30人、保護者19人) ⑨親子魚釣り教室2016(つりはたのしいね！思い出の釣り)(NPO法人奥多摩川友愛会)(子ども41人、保護者30人)	○	各事業とも、当日までの間に行われた準備作業や、関係者との調整、周知活動等、団体の行動力には目を眩るものがあり、市においても物品準備や周知活動、当日の事業運営への協力を行い、それらの結果として、多くの子どもたちに自然体験をしてもらうことができた。一事業のみ荒天のため中止となったが、全体として大きな効果があったと考えられる。
	環境政策課から公園緑地課へ移管	125 市民環境講座	市民の環境への関心を高め、環境施策を推進します。	「青梅の森」市民ボランティア講座を実施していたが、平成26年度より市民団体の自主講座として実施している。	-	
	環境政策課	126 環境月間	環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするため、各種の啓発を行います。	①6月1日号広報おうめ周知 ②6月の環境月間中の「おうめ環境フェスタ2016」を おうめ環境市民会議と協働で実施した。 ・体験ワークショップ(345人) ・親子野鳥観察会(18人) ・市役所ロビー展示 ・中央図書館環境図書コーナー ・講演「循環型社会における有機農業と生ごみ肥料の有用性」(19人) ・親子ホテル観察会→雨天中止 ・環境フェスタ・アーカイブス(228人) ミニ講演会 ホテル(17人)水鳥(31人)哺乳動物(31人) ③3月15日おうめ環境ニュースを発行	○	市内の団体、企業、教育機関等の各主体の環境活動を集め、市民に向けてアピールする環境月間に行う「おうめ環境フェスタ」は、啓発効果が高く、環境について考える場を提供できる意義ある事業と考えられる。 また「おうめ環境ニュース」についても市民団体と協働で編集を行うことで、市民目線の発行物を作成できたと考えられる。
	清掃リサイクル課	127 ごみ処理施設見学会	市民のリサイクル意識の高揚と啓発のため、リサイクル製品再生工場等の施設見学会を実施します。	・8月4日、東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設および二ツ塚処分場見学、自然休養村さかな園、青梅市リサイクルセンター 18人 ・8月17日、多摩川上流水再生センター、西多摩衛生組合、青梅市リサイクルセンター 14人	○	市民がエコセメント化施設等を見学しリサイクル意識の高揚が図れた。
	清掃リサイクル課	128 市内一斉美化デー	ごみ減量の啓発および地域の環境美化向上のため、環境美化委員の協力により各地域の美化活動を行います。年2回	市内一斉美化デーを、5月8日(1,145人参加)と12月11日(1,028人参加)の2回実施した。	○	環境美化委員連合会を中心に年2回、市内全域で美化活動が行われると同時に、環境美化の意識の高揚が図れた。
	清掃リサイクル課	129 小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進ポスターコンクール	社会問題になっているごみ問題について、その減量化や資源化の大切さを個々に考えてもらうよう、啓発を行います。	ポスター部門は小学校10校から60点の応募、キャッチフレーズ部門は小学校6校から118点の応募があり、10月13日に審査会、10月29日に表彰式を行った。入賞作品はロビーに展示し、平成29年度ごみ収集カレンダーの表紙にも使用した。	○	多くの作品が応募されたことにより、ごみの減量化や資源化の啓発が図れるとともに、入賞作品をごみ収集カレンダーに掲載しごみ減量化などの啓発を行った。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	清掃リサイクル課	130 ごみ減量講座	資源循環型社会の目的理解と、ごみ減量を目指した学習を通して、ごみ問題についての啓発を行います。	ごみ減量をテーマに、ごみ減量講演会(1回)出前講座(8回)等を行い、ごみ減量の意識の向上を図った。	○	ごみ減量講演会(90人)、出前講座(335人)等に多くの市民が参加し、ごみ減量等の意識の向上が図れた。
	農林課	131 野鳥講座	野鳥についての講義や観察を通じて、森林や自然環境保護の大切さを学びます。	講座内容が、趣味的要素が高く、なおかつ、庁内部署において同一団体講師による類似内容の講座が実施されるようになり、趣旨や内容の再検討、講師依頼先の検討、事業効果への疑問などの点から事業全体の見直しが検討されてきたため、業務終了	-	
	農林課	132 協働木育講座「林業化仕事見学ツアー」	子どものころから木を身近に使っていくことで、人と森や木との関わりの大切さを考えられる豊かな心を育てる木育の推進事業を実施	実施日 7月31日(日) 会場 成木7丁目山林 参加人数 12家族25人	○	実際に木を切り、皮をはぎ、ベンチをつくった体験は子どもはもちろん大人も夢中になることができ、良かったとのアンケート結果から一定の成果を上げることができた。
	社会教育課	133 暮らしやすい環境のための教室・講座の企画	日常生活や環境を考え、暮らしに役立つ工夫やヒントを得る機会としての教室・講座を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度農業・食育体験教室(336人) 子ども食育教室～農業体験と手づくりアイスクリーム～(56人) 味噌の蔵出し体験(18人) 味噌作り教室(35人) 青梅まちづくり工房～地域デビュー応援コース～(85人) 青梅まちづくり工房～おとな×若者のまちづくり交流会～(23人) 市民センター共催事業 ・新町ウォーク2講座(67人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 計 7講座 延べ参加人数 553人	○	暮らしやすい環境のための教室・講座として、7講座を実施し、2020年の東京五輪を見据えた事業や、青梅まちづくり工房の充実化などに取り組んだ。

3 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 地域コミュニティ活動への支援	防災課	134 総合防災訓練	大地震による震災を想定した各種訓練のほか、避難訓練、初期消火訓練など住民参加型の訓練も実施し、防災意識の高揚を図り、防災知識や体験を深め、助け合い、協力し合う自主防災まちづくりを目指します。	市および関係防災機関、市民等が一体となって防災訓練を行うことにより、機関相互の協力体制の緊密化と防災計画の運用習熟化を図り、併せて市民の防災意識を高めることを目的に訓練を実施する予定であったが、グラウンド不良、悪天候のため中止した。	△	雨天時は訓練内容を縮小し、実施する予定で計画していたが中止としたため。
	防災課	135 防災ハンドブックの作成・配布	市民への防災知識の普及および啓発のため、防災ハンドブックを作成し、配布します。市民の自助・共助の精神を養い、災害に対応できるよう支援します。	・平成27年3月に市民防災ハンドブックを全戸配布し、周知を図るため同年5月11日から29日にかけて、市民センター等11の会場において説明会を開催した。 ・全戸配布後、青梅市へ転入した方に対し市民課より配布を行っている。	-	
	市民活動推進課	136 市民活動災害補償制度	市民活動団体等が、活動中に不測の事故により、参加者や第三者に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負うことになった場合または参加者が負傷等された場合に保険で補償する制度を実施します。	市民活動災害補償制度にもとづき、保険請求に係る事務手続きを行った。(市民活動推進係) 受付件数 傷害 23件 賠償 0件 計 23件	○	自治会をはじめNPO団体などの市民活動団体の活動に関して、その活動が安全、安心して行えるように市が保険に加入し、ホームページや自治会へ配布した自治会ハンドブックに掲載、およびボランティア団体連絡会等で周知をして制度について認知が得られ活用されているため。
	市民センター	137 自主学習グループ支援	自主グループが学習活動を継続できるよう、活動場所や資料作成のための印刷機などを提供するほか、日頃の活動成果の発表の場として、市民センター文化祭などを開催します。	自主グループの活動場所として、会場の貸出し、印刷機の貸出を行った。 自主活動グループと地域住民とで、日頃の活動発表の場として市民センター文化祭を実行委員会とともに開催した。 ・青梅市民センター文化祭 ・長淵市民地区文化祭 ・大門市民センター文化展 ・梅郷地区総合総合文化祭 ・三田地区総合文化祭 ・小曾木地区文化祭 ・成木地区文化祭 ・東青梅市民センターコミュニティ文化祭 ・新町末広町地区市民文化祭 ・河辺市民センター文化祭 ・今井市民センター文化展・ふるさと祭り	○	市民センターは地域の自主グループを中心とした各種団体の活動拠点としての場所の提供などの役割を果たすとともに、発表の場および地域交流の場として文化祭を開催している。 自主グループの学習活動に対し、可能な限り施設等の提供ができた。 また、文化祭においても多くの観覧者の参加を得、一定程度の効果があった。
	市民センター	138 支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等各地域団体の支援	地域活動がスムーズに行われるよう、地域に密着した施設として、会場や備品・用具の提供などにより、地域活動が発展するよう応援します。 地区運動会、各種スポーツ大会、講演会、研修旅行、総会・役員会など	・地域活動が円滑に行われるよう、支会、自主防災組織等各種団体の事務局として、また地域に密着した施設として、会議等活動の支援および会場、備品、用具の提供などの面で地域活動が発展できるよう支援した。 ・地区運動会等の地域行事および各団体の総会、役員会開催のほか、高齢者団体等の地域活動を積極的に支援した。 (主な地域活動) 視察研修、地区運動会、ビーチボール大会、地区防災訓練、防犯・環境巡回パトロール、盆踊りほか。	○	さまざまな地域団体の事業の支援を行うとともに、支会の事務局として地区運動会、支会盆踊り大会、ソフトボール大会など地域行事の支援を積極的に行っている。 各種団体の事務局として、地域団体活動を支援するとともに、施設等の提供も行い、一定の成果を上げることができた。
スポーツ推進課	139 青梅型地域スポーツクラブ	「本市の自然環境をいかしたスポーツの推進」を図り、スポーツを通じた「青梅らしい」スポーツの機会を拡充します。 青梅型スポーツクラブは、スポーツだけでなく、文化的側面等もふまえた教室・イベントを展開し、青梅の魅力に触れる機会を増やします。 例 青梅の森において、ノルディックウォーキングをつかった自然(森)の観察会など	地域スポーツクラブ共催事業 【地域スポーツ文化交流クラブ御岳】 ・2016スポーツラフティング講座 ・2016リバーサイドヨガ講座 【地域スポーツ文化交流クラブままにこっと】 ・ライフセービングサポーター講習会～子どもの応急処置講座～ ・ユハナ先生の楽しいママ英会話教室	○	地域スポーツクラブとの共催事業により、幅広い世代、分野に関して、スポーツを通じた支援が可能になった。 地域スポーツ文化交流クラブ御岳では、御岳地域の自然を活かしたラフティングやリバーサイドヨガといった青梅の特徴的なスポーツを実施した。 地域スポーツ文化交流クラブままにこっとでは、同年代の子どもを持つ子育て世代が、子どもを連れて参加することで、親同士の交流の場としての役割を果たしている。 地域スポーツ文化交流クラブ御岳および地域スポーツ文化交流クラブままにこっとは、継続的な運用に向けて、今後も事業内容や実施方法について検討が必要と考えられる。	

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 地域コミュニティ活動への支援	スポーツ推進課	140 地区市民運動会等支援	青梅市自治会連合会の各支会、地区体育振興会、三団地連絡協議会等に対し、地区市民運動会等交付金を交付し、地区体育の振興とコミュニティの醸成を図ります。	交付団体数:14団体 交付金額:13,778,000円 延べ参加者数8,306人 ※要綱にもとづき、5月と9月に交付	○	各地域で運動会やスポーツ大会などの開催にかかる経費に支援することができ、事業の目的を果たすことができた。 今後、自治会・支会が行うスポーツ・レクリエーション活動を交付対象にするなど、活用の自由度を広げる検討もしていきたい。
	清掃リサイクル課	141 環境美化大会	ごみ減量を中心に、市の環境衛生美化推進のため、環境衛生・美化善行者、団体等への表彰と講演会を行い、地域における市民活動を支援します。	環境美化委員をはじめ、環境衛生・美化善行者、優良団体等の表彰を行い、「エコセメントおよび最終処分場について」と題した講演会を実施した。	○	美化活動およびごみ減量推進にご尽力いただいた市民および団体を表彰し、地域における市民活動を支援した。
	清掃リサイクル課	142 資源回収の奨励	自治会、子ども会等の地域活動の一環として、資源のリサイクルの必要性を認識し、リサイクルの促進に取り込み、ごみ減量を図ります。	141団体が実施 資源回収量は3,991,451.6kg。 報償金39,636,621円、特別報償金4,612,026円を交付した。	○	多くの団体が資源回収に取り組み、多くの資源が回収できたことによりごみ減量を図れた。
	社会教育課	143 社会教育関係団体補助	市内の社会教育関係団体に補助を出し、その活動を支援します。	青梅ボーイスカウト連絡協議会3団体	○	1団体に補助を行い、各団体の活動に活用された。
	文化課	144 総合文化祭	青梅市文化団体連盟との共催により、市民の日ごろの学習成果発表の場として、各参加団体の舞台発表や作品展示等の総合文化祭を開催します。	総合文化祭開催期間 期間9月30日～11月27日 参加団体 29団体 参加者数 10,972人(観覧者含む)	○	文化団体連盟に加盟している、合唱連盟、三曲連盟、日本舞踊連盟、吟詠連盟、華道会、陶芸連盟、盆栽協会、書道連盟などの団体が市民会館等を会場に、発表会や展覧会を開催した。市民会館での最後の文化祭ということもあり、どの団体も例年以上の内容で、参加者数・観覧者数は前年に比べ増加した。
	吹上中学校	145 落ち葉掃き等ふれあい活動	・学校周辺の落ち葉やゴミの回収、学校・地域の美化活動に努めます。 ・活動を通して身近な環境について考える機会とします。 ・保護者、地域の人々と活動を共にすることにより地域の人々とのふれあいを深めます。毎年12月実施	若林博司氏を講師に招き、「里山一森の恵みと人の暮らし」のテーマで講演をいただいた。講演後学校周辺の落ち葉掃きを学校と地域が一緒になって実施し、実施後にはPTAの保護者が作った豚汁を配布した。 実施日12月17日 参加人数 300人	○	例年、豚汁に使っている野菜は、落ち葉掃きの際に集めたものを堆肥にして使用し生産されたものを農家から頂いたもので、地域環境の学びだけではなく、地域連携にも役立っている。
(2) 地域人材の育成と活用	商工観光課	146 合同企業説明会in青梅	『地学地就』(地元で学んで地元で就職する。)をテーマに、多摩地域の学生と、新卒採用する企業との出会いの場を提供します。	未実施	×	近年、参加者が低迷し、平成27年度は見込んだ参加者を大きく下回った。この結果を踏まえ、28年度は会場と周知方法を再検討するため、開催を見合わせた。
	防災課	147 防災リーダーの育成	自主防災組織の主体的な活動の要となる防災リーダーについて、計画的な育成を図ります。	・自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費を8組織に交付した。 ・防災リーダーの育成を目的とした防災リーダー講習会を実施し、防災士資格を取得した15人を含む市民が参加、防災リーダーの育成を図った。 実施日 3月5日 参加者 79人	◎	防災士の資格取得にかかる経費を11組織分確保し、11組織全てで資格取得したため。
	市民センター	148 子ども会ジュニアリーダー講習会	子ども会の最上級生となる小学校6年生を対象に、子ども会リーダーのあり方や行事計画の立て方、ゲーム指導などの講習会を行い、下級生の面倒を見ながら、子ども会活動ができるようになります。	・地域PTAの協力のもと、地区青少年委員を講師にジュニアリーダー講習会を開催(7月2日)(長淵C) ・小曾木地区では、青少年対策小曾木地区委員会が中心となり、小中学生を対象にジュニアリーダー講習会を年3回、実施している。(小曾木C) ・青少対と協力してジュニアキャンプ(1泊)やスイカ割り大会&マスカみ取りなどを実施し、子どもたちが主体となって下級生の面倒を見ながら、楽しく子どもが交流できるようにした。(小曾木C・成木C) ・ジュニアリーダー講習会を実施し、ジュニアリーダーの育成に努めた。(東青梅C。新町C)	○	青少年の育成の支援の一つとして、地域内のジュニアリーダーの養成を支援し、地域の青少年の健全育成を図る取り組みを支援している。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(2) 地域人材の育成と活用	市民センター	149 子ども会育成指導者講習会	子ども会育成会役員などを対象に、子ども会活動のあり方や運営のポイント、レクリエーションのポイント等について研修会を行い、地域子ども会活動の活性化を図ります。	・ジュニアリーダー講習会とあわせて子ども会育成指導者学級を開催し、地域の子供会活動の活性化を図った。(東青梅C)	○	青少年の育成の支援の一つとして、地域内の子ども会指導者を支援し、地域の青少年の健全育成を図る取り組みを支援している。
	市民センター	150 地域の特性を生かした事業	各市民センターにおいて、その地域の特性を生かした講座・教室などを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅大祭をより楽しんでもらうため、講演会『青梅大祭の基礎知識』を実施した。(青梅C) ・青梅地区の自然環境を生かし、『永山の自然を楽しもう！小学生昆虫標本教室』を実施した。(青梅C) ・青梅市民センターを利用する子ども達の思いを探るため、『Teen'sコトBar～子どもだって地域の主役～』を実施した。(青梅C) ・地元講師によるうどん打ち教室を実施(7月31日)(長淵C) ・園芸農家の方の指導で「庭づくり」「クリスマスリースづくり」「苔玉づくり」の教室を開催した。(長淵C) ・地域の伝統食でもある年越しそば作りを体験する「そば打ち教室」を開催した。(大門C) ・「地域散歩」を開催して実際に地域を見て回り、歴史や風土を感じてもらった。(大門C) ・梅郷ホテルウォッチング、ふるさと探訪「多摩川南岸を歩く」を実施した。(梅郷C) ・自然観察ハイキングを年2回開催している。(沢井C) ・地元のサークルの協力をいただき、手打ちそば教室を実施した。(小曾木C) ・ハイキング教室、マスカみ取り体験教室などを行った。(成木C) ・当該地域になじみのある講師を呼び、一般成人を対象に小品盆栽の植え方教室、地域の神社仏閣をめぐる東青梅ウォーキングを実施した。(東青梅C) また、当該地区の防災士を講師に呼び、地域の特性に合った防災対策を学ぶ図上防災訓練講習会を実施した。(東青梅C) ・「新町ウオーク」～もっと知ろう、新町と周辺地域～」を実施した。(新町C) ・「新町ウオーク」～もっと知ろう、身近なとりたち～」を実施した。(新町C) ・夏の企画として「うどん作り体験教室」を実施した。(新町C) ・年末の企画として「そば打ち教室」を実施した。(新町C) ・日々の生活の礎として「健康」と地域社会でのネットワークを広げ新しい出会いの場を作るため、60歳以上を対象に「のびのび健康体操教室」を実施した。(河辺C) ・外歩きと座学により、地名の由来など地域の身近な歴史を学ぶため、地元の文化財保護指導員を講師に迎え、短時間の外歩きを含めた歴史講座を実施した。(今井C) ・年度末に向け、学校や地域のお別れ会、お楽しみ会等で活用できるよう、身の周りにある物を利用、加工し、2種類マジックを習得する講座を実施した。(今井C) 	○	地域の魅力を再発見する良い機会となり、参加者の感想からも満足度の高さが伺えたため。参加者が実体験することにより、地域の歴史の移り変わりなどを身近に感じる事ができた。生涯学習の拠点として、地域を知っていただく良い機会となった。参加者からのアンケート結果からも、評判が良く、所期の目的は果たせたものと評価する。
	スポーツ推進課	151 スポーツ推進委員研修	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修会を実施するとともに、東京都スポーツ推進委員協議会等が主催する研修への参加を促します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ、綱引き、障がい者スポーツ等の研修会に参加した。 回数 5回 延べ参加人数 75人 東京都スポーツ推進委員協議会等の研修会に参加した。 回数 10回 延べ参加人数 54人 	○	地域のスポーツ推進に関して、指導的な立場にあるスポーツ推進委員の資質向上のため、研修会等へ積極的な参加をしている。今後の継続性について、委員の選出に当たり後任者探しが困難になっている現状があり、スポーツ推進委員の選出方法等に関して今後検討が必要。
	高齢介護課	152 シルバーマイスター制度	優れた技能、知識、経験等を有する高齢者をシルバーマイスターとして認定・登録し、市民の学習活動の講師や指導者として推薦します。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイスター認定者 24名 平成28年度認定者 3名 活動回数 約400回 (活動内容:グループホームで生け花の交流会、司会進行法の教室、ウクレレサークル活動、健康麻雀教室、市民センター等でそば打ち指導、社交ダンス指導、ジェットエンジンの説明、老人ホーム等への出張演奏(アコーディオン、三味線)、和紙ちぎり絵教室、談話と水墨画教室等) 	○	昨年度に比べマイスターの活動回数は減っているが、平成28年度のマイスター認定者は3名であり、学習活動の講師や指導者として活躍できるマイスターが増えたため
	商工観光課	153 吹上しょうぶ公園・梅の公園ボランティアガイド	花しょうぶまつり・梅まつりの期間中に、市民によるボランティアの協力を得て、園内の案内をしていただくとともに、自然に親しみ、人とのふれあいの場を提供するため、ガイドを募集・講習会を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・吹上花しょうぶ祭り(平成28年5月25日～6月19日)しょうぶ公園ガイドボランティア (1)講習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> しょうぶ公園ガイドボランティア講習会(2回実施) 5月17、19日「花しょうぶ講習会」 (2)新規募集 <ul style="list-style-type: none"> しょうぶ公園ガイドボランティアの新規募集を平成28年2月に行い、3人の方の応募があった。平成28年3月3日、4月15日、5月13日、7月5日に講習会を実施。 ・吉野梅郷梅まつり(平成29年3月5日～3月20日)梅の公園ガイドボランティア打合せ実施 1月16日「梅の里再生事業の現状、28年度の活動について」 	○	しょうぶ公園ガイドボランティアについては、新規募集・講習会の実施ができた。また、しょうぶまつり期間中には、園内の案内をしていただいた。しかし梅の公園ガイドボランティアについては、休止していたため。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(2) 地域人材の育成と活用	農林課	154 青梅市森林ボランティア育成講座	初心者・未経験者を対象に、下草刈り、枝打ち、間伐などの森林施業に必要な知識や技術習得の講義・実技指導を行い、森林整備の新たな担い手としての森林ボランティアの育成・組織化を図ります。	平成28年度は、第8期の1年目として、基礎的な内容を中心に実施した。 第1回 6月14日 開講式、周辺山林の視察 26人 第2回 8月13日 間伐 22人 第3回 10月 8日 製材所、原木市場等施設見学 17人 第4回 12月 3日 竹林間伐、炭焼き 15人 第5回 1月14日 枝打ち 12人 第6回 3月11日 植林 12人 延べ参加人数 104人	○	毎回講座終了前に受講者に作業日誌を記入していただいているが、ほとんどの受講者から充実した内容であった旨の記入があり、一定の成果があったと考えられる。
	公園緑地課	155 緑地管理ボランティア	緑地管理ボランティアを対象とした講習会を開催し、技術や知識を高め、永山公園内緑地を良好な環境に保つボランティアとしての資質の向上を図ります。	実施日 毎月第3土曜日(8月除く)に実施(計11回) 場所 永山公園内ボランティア管理緑地・わかぐさ公園ほか 延べ参加人数 108人 内容 下草刈りおよび支障木伐採等	○	長年経験してきた人が多く、技術や知識も身につけており、永山公園内緑地を良好な環境に保持するだけでなく、わかぐさ公園や他の施設においても管理作業をお願いし、良好な環境の保持に貢献していただいた。
	社会教育課	156 青少年リーダー育成研修会事業	小学5年生から高校3年生までを対象に、異年齢集団による団体活動を通じて、自主性や社会性を養い、リーダーとしての資質の向上を図ります。	6月12日～8月28日 全7回 市役所、国立妙高青少年自然の家ほか 延べ参加人数 273人	○	全7回の研修会で、班活動や障害者スポーツ体験、プロジェクトアドベンチャー等の活動を実施し、仲間との信頼関係を築くことや、自主性・社会性の養育を図った。
	社会教育課	157 講師・指導者およびボランティア協力者・協力団体人材登録制度	地域の人材を発掘し、身に付けた知識・技術などを広げていくため、人材登録制度を実施し、地域の教育力の向上を図ります。活用を促進するため、ガイドブックを発行します。	教育委員会ホームページにて情報提供した。 個人 文化系 44人 体育系 12人 団体 文化系 2団体	○	文化系・体育系ともに微増となった。今後も広報おうめや生涯学習だよりを活用し、広く周知を図る。
	文化課	158 芸術文化奨励賞	青梅市の芸術文化の発展を願って、地域で活動されている芸術家の方を発掘し、表彰します。	郵便 酒井正雄 著書「世界のポスト:196カ国の平和への懸け橋」(講談社エディトリアル/刊)が郵便文献特別表彰される。 音楽 正田彩音 第25回ABC新人コンサート「音楽賞」受賞、第32回ヴァルセミア国際音楽コンペティションピアノ部門「第一位」受賞 書道 神山まゆみ 第28回全国ひらがな・かきかたコンクール毛筆の部「文部科学大臣賞」受賞 書道 虻川幸華 第32回全国年賀はがきコンクール「学年優勝杯」受賞、第28回全国ひらがな・かきかたコンクール毛筆の部「文部科学大臣賞」受賞 書道 田島知可子 第39回全国学生書写書道展席書の部「文部科学大臣賞」受賞 書道 伊藤美佳 第39回全国学生書写書道展席書の部「特別名誉大賞」受賞、第31回全国学生書き初め展覧会毛筆の部「学年優勝杯」受賞、第32回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会硬筆の部「文部科学大臣賞」受賞 音楽 市立第三中学校吹奏楽部 第21回日本管楽合奏コンテスト「優秀賞」受賞 音楽 市立第六中学校吹奏楽部 第56回東京都中学校吹奏楽コンクール「金賞」受賞し、東京都代表として東日本中学校吹奏楽大会出場 音楽 市立吹上中学校吹奏楽部 第56回東京都中学校吹奏楽コンクール「金賞」受賞し、東京都代表として東日本中学校吹奏楽大会出場 音楽 市立泉中学校吹奏楽部 第21回日本管楽合奏コンテスト「優秀賞」受賞	○	学校や文化団体へ、芸術文化奨励賞の周知を図るとともに、広報おうめや市ホームページ等を通じ、広く周知することができた。また、新聞のデータベースを活用し、各大会の受賞状況を調査した。それによって、芸術・文化活動に業績を上げた対象者をもれなくリストアップできた。基金をもとに、受賞者には奨励金を交付した。
	中央図書館管理課	159 おはなし学習会	おはなし(ストーリーテリング)の初心者で、市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、実践を含めた勉強会を実施します。	・おはなし学習会(初級) 5月19日～1月12日 8回 延べ参加人数 47人 ・おはなし自主勉強会 6月17日～3月17日 9回 延べ参加人数 75人	○	おはなし学習会(初級)を8回開催し、延べ47人の参加者があった。また、おはなし自主勉強会を9回開催し、延べ75人の参加者があった。今後も開催回数や内容の充実を図ることが課題である。
中央図書館管理課	160 絵本のペンきょう会	市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、絵本の読み聞かせの実践を含めた勉強会を実施します。	・絵本のペンきょう会 5月20日～3月9日 6回 延べ参加人数 99人	○	絵本のペンきょう会を6回開催し、延べ99人の参加者があった。今後も開催回数や内容の充実を図ることが課題である。	

4 学習情報提供と学習相談の充実

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 学習情報提供の充実	秘書広報課	161 広報おうちの発行	行政情報を中心に、制度や催しのお知らせのほか、市民や市内の出来事などの紹介や市民グループからの情報なども提供します。月2回発行	毎月1日・15日を発行日とし、24回(10ページ4回、12ページ16回、14ページ4回)発行した。	○	全体の構成や記事の内容などに留意のうえ、写真やAR動画も掲載し、読みやすい紙面とするよう努めた。
	企画政策課	162 男女平等情報紙	市民の関心と理解を深めるため、男女平等情報紙「よつばの手紙」を年2回発行します。	市民等への男女平等参画の意識啓発のため、男女平等情報紙「よつばの手紙」を9月と3月にそれぞれ34,000部発行し、自治会加入世帯および公共施設等へ配布した。	○	情報紙は、市民が参画する編集委員会が企画・編集しており、毎号、記事内容、装丁などの更なる充実に向けて話し合いながら取り組んでいる。
	情報システム課	163 インターネットホームページの充実	青梅市について広く周知するため、利用者(閲覧者)にとってより、分かりやすく効果的な情報発信ができるようホームページ機能の充実を図ります。	効果的でよりわかりやすい情報発信に向けて、各ページの更新等を行い、コンテンツの充実を図った。	○	大きな課題や問題点はなく、コンテンツの充実等を図ることができた。
	市民税課	164 青梅税務署管内小学生による『税を考える週間』書道展	西多摩地区税務協議会主催で、青梅税務署管内の小学5・6年生を対象に、書道作品の募集を行います。厳正な審査を行い、入賞者を決定、入賞作品の展示会(イオンモール、合同庁舎)および表彰を行います。	青梅税務署管内小学5・6年生から3,719点の応募があり、青梅市からは16校994人から応募いただき、うち特選6名、準特選5名、金賞10名、銀賞12名、銅賞17名、佳作36名、計86名が入賞した。入賞者の作品については、下記会場にて展示を行った。 ・イオンモール日の出 イオンホール 会期 11月11日～13日 ・青梅合同庁舎(青梅都税支所) 会期 11月15日～18日	○	応募校および応募者数ともに昨年を下回ったが、書道を通じて税に関する正しい知識の普及と意識の高揚を図り、租税教育を推進することがおこむねできた。
	防災課	165 土砂災害対策の充実	土砂災害ハザードマップを作成・配布し、危険区域の住民周知を行うとともに、土砂災害対応訓練を実施し、市民の防災意識の高揚と知識の習熟を図ります。	・第7支会(成木地区)をモデル地区として更新した土砂災害ハザードマップを基に、他地区の土砂災害ハザードマップの更新に向けた検証、検討を行った。 ・大門市民センターおよび市立第三中学校ほかにおいて、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として土砂災害対応訓練を実施した。 ・実施日 6月26日 参加人数 810人(土砂災害対応訓練707人、水防訓練103人)	△	・土砂災害ハザードマップについては、検証、検討にとどまり、更新に至らなかったため。 ・土砂災害対応訓練については、810人が参加することで、市民の防災意識の高揚および知識の習熟を図ることができた。
	市民センター	166 市民センターだよりの発行	市民センターで開催される事業や地域の色々な行事などの話題をお知らせします。	・「市民センターだより」は発行していないが、青梅市自治会連合会ホームページを通じ、支会の行事等の情報発信を行った。(青梅C) ・「長淵市民センターだより」を計12回発行(長淵C) 毎月1回、地域の行事やセンターで行われる事業を「市民センターだより」として発行し、自治会回覧・自治会連合会HPによる情報提供を行った。(梅郷C) ・「市民センターだより」を計12回発行(沢井C) ・市民センターからのお知らせを12回発行した。その他、行事ごとの回覧を発行した。(小曾木C) ・センターだよりを発行し、市民センター行事や支会行事情報の周知に努めた。(成木C) ・センターだよりを発行し、市民センター行事や支会行事情報の周知に努めた。(東青梅C) ・市民センターだよりを毎月1日付けで年12回(裏面は図書館だより)発行(新町C) ・自治会便りを月1回を原則として発行し、市民センター行事や支会行事情報をお知らせした。裏面では併設の図書館情報もお知らせし、また、青梅市自治会連合会HPも活用した。(河辺C) ・地域の行事やセンターで行われる事業などをお知らせする「今井市民センターだより」を毎月1回発行した(図書館だよりも併載)(今井C)	○	HPによるお知らせとともに市民センターだよりを発行することにより、より幅広い市民への周知を図っている。地域への情報の提供、共有において役割を果たした。 センターだよりを各自治会へ回覧するなどにより、ホームページの閲覧などパソコン操作が苦手な方などへも、一定の周知ができたものを評価する。
	商工観光課	167 観光CD-R等の貸出し、観光テレフォンサービス	青梅市の観光について知っていただき、理解を深めていただくため、気軽に利用してもらえる情報を提供します。	観光テレフォンサービス利用状況 催し物案内、花と紅葉の情報、御岳渓谷・御岳山・吉野梅郷等案内 272件	○	テレフォンサービスについては、旬な観光情報等案内できたが、観光CD-Rの貸出しは、できていないため。

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 学習情報提供の充実	社会教育課	168 生涯学習だよりの発行	市の各種教室、講座、講演会、イベントや市民グループ・団体および西多摩の関係施設の生涯学習情報をまとめて提供し、市民の学習活動を応援します。 年4回発行(4月・7月・10月・1月)	生涯学習だよりの部数を各回1,500部、年4回発行した。また、教育委員会ホームページにも掲載した。	○	各種団体の行事・イベント等予定の掲載のほかに、実施した事業、生涯学習講師などの掲載も行った。掲載内容については今後も検討していく。
	社会教育課	169 市民企画講座の募集	まだ、青梅市では開催されることがないような講座の企画を市民から募集し、市民センター等で開催します。	生涯学習推進市民会議企画講座を開催した。 計11講座 延べ参加人数 648人	○	市民会議委員の協力により、講座を実施した。成人向けの生涯学習講座を中心に実施し成人教育の充実が図られた。
	社会教育課	170 社会教育事業の学校への周知	市民センター等で実施する生涯学習事業を積極的に学校へ周知をします。	講座開催ごとに、小・中学校などにポスター・チラシを送付したり、生涯学習だよりを配布して周知した。	○	講座によってチラシの配布方法を変更したり、学校からの申込みを増やすために、申込みボックスを設置するなど工夫を図った。
	中央図書館管理課	171 図書館報の発行	図書館の事業や新着図書を紹介する図書館報を発行します。	・図書館報 年5回発行・各回約300部作成 中央図書館・各分館で配布、ホームページへの掲載	○	年5回発行し、図書館事業を紹介することができた。今後も内容の充実を図ることが課題である。
	中央図書館管理課	172 ブックリストの配布	幼児、小学校(低・中・高学年別)および中・高等学校の児童・生徒に推薦図書リストを配布します。	・幼児向けブックリストを市内幼稚園、幼稚園、保育園を中心に400部配布した。 ・小学校(低・中・高学年)向けブックリストを市内の小中学校を中心に3,000部配布した。 ・中高生向けブックリストを中学校、高等学校に1,400部配布した。	○	保育園や小中学校など市内全域の幼児・児童・生徒にブックリストを配布することができた。
	中央図書館管理課	173 分館図書館だよりの発行	新着図書を中心に、特集なども組んだりしながら、市民への推薦図書を楽しく紹介する、図書館だよりを発行します。	・分館図書館だより 毎月発行(年12回)・各回120部作成 中央図書館・各分館で配布、ホームページへの掲載	○	毎月発行し、発行時期に応じた特集や新着図書を紹介することができた。今後も内容の充実を図ることが課題である。
(2) 学習相談の充実	社会教育課	174 学習相談	青梅市に登録された講師・指導者等の人材情報や生涯学習施設、講座・催し物、学習グループ等の情報にもとづいて学習相談を受け、市民の学習意欲が活動につながる相談体制を構築します。	窓口で随時情報提供を行うほか、ホームページによる周知を図った。	○	窓口や電話でのサークル紹介や講師紹介を行った。

5 生涯学習推進体制の確立

施策の方向	担当課	事業名	事業内容	平成28年度取組状況	担当課評価	評価理由
(1) 推進体制づくり	職員課	175 職員対象啓発事業	「青梅市生涯学習まちづくり出前講座」等の生涯学習の推進を図るため、担当業務に精通する上で必要な研修の受講を支援し、職員の生涯学習に関する意識を啓発します。	業務に必要な知識等の修得を図るため、東京都市町村職員研修所の実務研修に34名、東京都研修所等の公的機関が主催する研修に8名、その他各種研修機関が主催する研修に45名、先進自治体などの視察に11名の職員を派遣した。また、自己啓発学習を促す通信教育等を34名が受講した。	○	平成28年度研修実施計画にもとづき、職層や経験年数に応じた研修に、効果的に職員を派遣することができた。 また、派遣人数についても、概ね、平成28年度研修実施計画で計画したとおり派遣することができた。
	社会教育課	176 生涯学習推進本部	市長を本部長とする生涯学習推進本部(行政組織)で、生涯学習推進の目標・基本方針、推進計画を策定し、生涯学習推進施策を全庁的に進めます。	・生涯学習推進本部会議開催数 2回 第1回開催日 4月26日 第2回開催日 10月18日 内容 出前講座の進捗状況、新緑祭の開催について等	○	生涯学習本部会議を2回実施し、各課で行う出前講座の進捗やその他青梅市の生涯学習に関する報告等を行い、青梅市の生涯学習全体の状況について議論した。
	社会教育課	177 生涯学習推進市民会議	学識経験者や生涯学習関係団体の代表者等からなる市民組織。市民の声を聴きながら、市と市民の協働で生涯学習推進施策を進めます。また、生涯学習推進市民会議企画講座を実施します。	・生涯学習推進市民会議開催数 3回 ・生涯学習推進市民会議企画講座 11講座 延べ参加人数 648人	○	市民会議を実施し、新緑祭の運営方法等や市民会議企画講座の実施の促進等について話し合った。

平成 2 9 年度
第五次青梅市生涯学習推進計画進捗状況報告書
(平成 2 8 年度分事業)

発行 青梅市生涯学習推進本部
編集 青梅市生涯学習推進本部事務局
青梅市教育委員会教育部社会教育課
〒 198-8701 青梅市東青梅 1-11-1
TEL 0428-22-1111

